SONY®

4-422-589-**01**(1)

デジタル スチルカメラ

取扱説明書

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

Cyber-shot

DSC-HX200V

⚠警告 安全のために

→ *110 ～ 113ページもあわせてお読みください。*

誤った使いかたをしたときに生じる**感電や傷害など人への危害**、また**火災などの財産への損害**を未然に防止するため、次のことを必ずお守りください。

「安全のために」の注意事項を守る

定期的に点検する

1年に1度は、電源プラグ部とコンセントの間にほこりがたまっていないか、電源コードに傷がないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

カメラやACアダプター、バッテリーチャージャーなどの動作がおかしくなったり、破損していることに気がついたら、すぐにソニーの相談窓口へご相談ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら煙が出たら

→ **❶ 電源を切る**
❷ 電池をはずす
❸ ソニーの相談窓口に連絡する

裏表紙に**ソニーの相談窓口の連絡先**があります。

⚠危険 万一、電池の液漏れが起きたら

❶ すぐに火気から遠ざけてください。漏れた液や気体に引火して発火、破裂のおそれがあります。
❷ 液が目に入った場合は、こすらず、すぐに水道水などきれいな水で充分に洗ったあと、医師の治療を受けてください。
❸ 液を口に入れたり、なめた場合は、すぐに水道水で口を洗浄し、医師に相談してください。
❹ 液が身体や衣服についたときは、水でよく洗い流してください。

警告表示の意味

この取扱説明書や製品では、次のような表示をしています。

⚠危険

この表示のある事項を守らないと、極めて危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生します。

⚠警告

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、その結果大けがや死亡にいたる危害が発生することがあります。

⚠注意

この表示のある事項を守らないと、思わぬ危険な状況が起こり、けがや財産に損害を与えることがあります。

注意を促す記号

火災

感電

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

プラグをコンセントから抜く

指示

電池について

安全のためにの文中の「電池」とは、「バッテリーパック」も含みます。

お使いになる前に必ずお読みください

表示言語について

本機では、日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。

内蔵メモリーおよびメモリーカードのバックアップについて

アクセスランプ点灯中に電源を切ったり、バッテリーやメモリーカードを取り出したりすると、内蔵メモリーのデータやメモリーカードのデータが壊れることがあります。データ保護のため必ずバックアップをお取りください。

本機搭載の機能について

- 本機は1080 60i対応機です。
- 本機は、1080 60pの動画に対応しています。1080 60pとは、従来の標準的な記録モードがインターレースで記録するのとは異なり、プログレッシブで記録します。これにより解像度が増え、滑らかでよりリアルな映像を撮影することができます。
- 飛行機の中では［飛行機モード］を［入］にしてください。
- 本機で撮影した3D画像を3D対応モニターでご覧になる場合、長時間見ないようご注意ください。
- 本機で撮影した3D画像を3D対応モニターでご覧になる場合、目の疲労、疲れ、気分が悪くなるなどの不快な症状が出ることがあります。3D画像を視聴するときは、定期的に休憩をとることをおすすめします。必要な休憩の長さや頻度は個人によって異なりますので、ご自身でご判断ください。不快な症状が出たときは、回復するまで3D画像の視聴をやめ、必要に応じて医師にご相談ください。
  本機に接続する機器やソフトウェアの取扱説明書もあわせてご覧ください。
  なお、お子さま（特に6歳未満の子）の視覚は発達段階にあります。お子さまが3D画像を視聴する前に、小児科や眼科などの医師にご相談ください。大人のかたは、お子さまが上記注意点を守るよう監督してください。

GPS機能について

- GPS機能は、ご利用になる国や地域の規制に従ってお使いください。
- 位置や方位情報を記録しない場合は［GPS方位］を［切］にしてください（91ページ）。

管理ファイル作成について

管理ファイルが作成されていないメモリーカードを本機に挿入し電源を入れると、メモリーカードの一部の容量を使って自動的に管理ファイルを作成します。次の操作まで時間がかかることがあります。

録画・再生に際してのご注意

- メモリーカードの動作を安定させるために、メモリーカードを本機ではじめてお使いになる場合には、まず、本機でフォーマットすることをおすすめします。
  フォーマットすると、メモリーカードに記録されているすべてのデータは消去され、元に戻すことはできません。大切なデータはパソコンなどに保存しておいてください。
- 長時間、画像の撮影・消去を繰り返しているとメモリーカード内のファイルが断片化(フラグメンテーション)して、動画記録が途中で停止してしまう場合があります。このような場合は、パソコンなどに画像を保存したあと、[フォーマット](92ページ)を行ってください。
- 必ず事前にためし撮りをして、正常に記録されていることを確認してください。
- 本機は防じん、防滴、防水仕様ではありません。「使用上のご注意」もご覧ください(106ページ)。
- 本機をぬらさないでください。水滴が内部に入り込むと、故障の原因になるだけでなく、修理できなくなることもあります。
- 日光および強い光に向けて本機を使用しないでください。故障の原因になります。
- 強力な電波を出すところや放射線のある場所で使わないでください。正しく撮影・再生ができないことがあります。
- 砂やほこりの舞っている場所でのご使用は故障の原因になります。
- 結露が起きたときは、結露を取り除いてからお使いください(106ページ)。
- 本機に振動や衝撃を与えないでください。誤作動したり、画像が記録できなくなるだけでなく、記録メディアが使えなくなったり、撮影済みの画像データが壊れることがあります。
- フラッシュの表面の汚れは取り除いてください。発光による熱でフラッシュ表面の汚れが発煙したり、焦げる場合があります。汚れ・ゴミがある場合は柔らかい布等で清掃してください。

モニターおよびレンズについてのご注意

- モニターは有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。
- モニターに水滴などがついてぬれてしまった場合は、すぐに柔らかい布でふき取ってください。放置するとモニターの表面が変質したり劣化して故障の原因になります。
- バッテリー残量がなくなると、レンズが出たまま動きが止まることがあります。充電されたバッテリーを取り付けて、再度電源を入れてください。

- モニターを持って、本体を持ち運ばないでください。

バッテリー・ACアダプターについて

- バッテリーやACアダプターは、電源を切ってから取りはずしてください。
- ACアダプターを本機から抜くときは、DCプラグと本機を持って取りはずしてください。

ソニー製純正アクセサリーをお使いください

純正品以外のアクセサリーをお使いになると、故障の原因になることがあります。

本機の温度について

本機を連続して使用した場合、本体やバッテリーの温度が高くなりますが、故障ではありません。

温度保護機能について

本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために自動的に電源が切れたり、動画撮影ができなくなることがあります。電源が切れる前や撮影ができなくなった場合は、モニターにメッセージが表示されます。このような場合、本機やバッテリーの温度が充分下がるまで電源を切ったままお待ちください。充分に温度が下がらない状態で電源を入れると、再び電源が切れたり動画撮影ができなくなることがあります。

画像の互換性について

- 本機は、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）にて制定された統一規格"Design rule for Camera File system"（DCF）に対応しています。
- 本機で撮影した画像の他機での再生、他機で撮影/修正した画像の本機での再生は保証いたしません。

AVCHD動画のパソコンへの取り込みについて

AVCHD動画をパソコンに取り込むときは、Windowsの場合は本機に搭載されているソフトウェア「PlayMemories Home」を使用してください。

他機での動画再生に際してのご注意

- 本機は、AVCHD方式の記録にMPEG-4 AVC/H.264のHigh Profileを採用しております。このため、本機でAVCHD方式で記録した動画は次の機器では再生できません。
  - High Profileに対応していない他のAVCHD規格対応機器
  - AVCHD規格非対応の機器

  また、本機は、MP4方式の記録にMPEG-4 AVC/H.264のMain Profileを採用しております。このため、本機でMP4方式で記録した動画はMPEG-4 AVC/H.264の対応機器以外では再生できません。
- ハイビジョン画質(HD)で記録したディスクはAVCHD規格対応機器でのみ、再生できます。

  DVDプレーヤーやDVDレコーダーはAVCHD規格に非対応のため、ハイビジョン画質(HD)で記録したディスクを再生できません。また、これらの機器にAVCHD規格で記録したハイビジョン画質(HD)のディスクを入れた場合、ディスクの取り出しができなくなる可能性があります。
- 1080 60pの動画は対応機器以外では再生できません。

著作権について

あなたがカメラで撮影したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興行、展示物などの中には、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

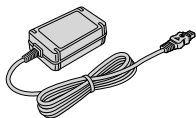
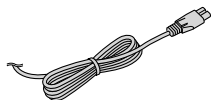
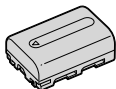
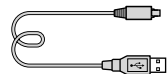
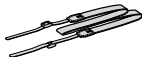
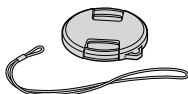
撮影内容の補償はできません

万一、カメラや記録メディアなどの不具合により撮影や再生がされなかった場合、画像や音声などの記録内容の補償については、ご容赦ください。

目次

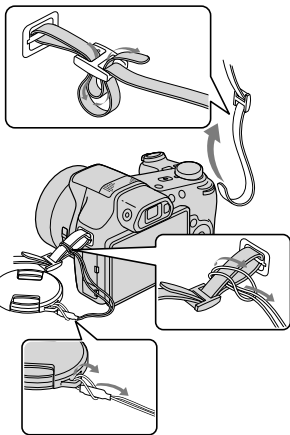
付属品を確認する

万一、不足の場合はお買い上げ店にご相談ください。
(　)内の数字は個数です。

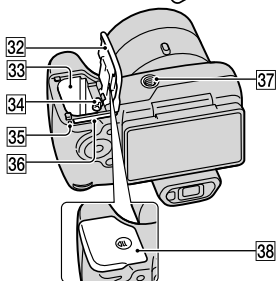
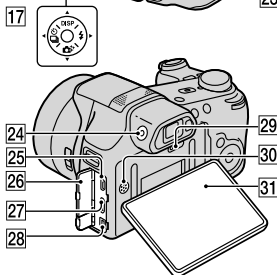
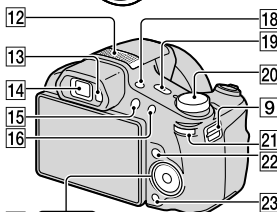
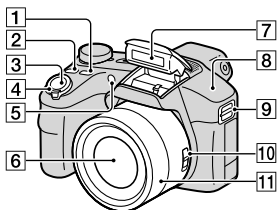
- ACアダプター
AC-L200C/AC-L200D..........(1)

- 電源コード..................................(1)

- リチャージャブルバッテリーパックNP-FH50.......................(1)

- マイクロUSBケーブル...........(1)

- ショルダーストラップ...........(1)

- レンズキャップ.........................(1)
レンズキャップひも...............(1)

- 取扱説明書(本書)....................(1)
- 保証書..(1)

ショルダーストラップを使う

落下防止のため、ショルダーストラップ、レンズキャップひもを取り付けてご使用ください。

準備する

各部の名前を確認する

1 FOCUS(フォーカス)ボタン

2 CUSTOM(カスタム)ボタン
- 好みの機能を割り当てることができます。

3 シャッターボタン

4 撮影時：W/T(ズーム)レバー
再生時：Q(再生ズーム)レバー/▦(インデックス)レバー

5 セルフタイマーランプ/スマイルシャッターランプ/AF補助光

6 レンズ

7 フラッシュ

8 GPS受信部(内蔵)

9 ショルダーストラップ取り付け部

10 ズーム/フォーカススイッチ

11 マニュアルリング

12 ステレオマイク

13 アイセンサー

14 ファインダー

15 ▶(再生)ボタン

16 MOVIE(ムービー)(動画)ボタン

17 コントロールボタン
メニューオン時：▲/▼/◀/▶/●
メニューオフ時：DISP/⚡/📷/
ૐ/❏

準備する

18 FINDER（ファインダー）/LCDボタン
- 液晶モニターで表示するか、ファインダーで表示するかを切り換えられます。設定を AUTOにすると、アイセンサーが接眼を検知して、表示を自動的に切り換えます。

19 ON（オン）/OFF（オフ）（電源）ボタン、電源/充電ランプ

20 モードダイヤル

21 ジョグダイヤル
- 詳しくは、13ページをご覧ください。

22 MENU（メニュー）ボタン

23 ?/🗑（カメラ内ガイド/削除）ボタン

24 視度調節ダイヤル
- FINDER/LCDボタンでファインダー撮影に切り換えたときは、ファインダー内の画像がはっきり見えるように、視力に合わせて視度調節ダイヤルを調節してください。
- 本機を明るいところに向けると、視度を合わせやすくなります。

25 マイクロUSB端子

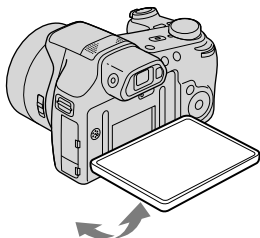
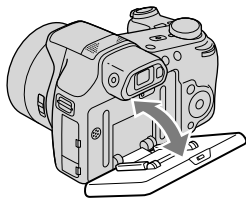
26 端子カバー

27 HDMIミニ端子

28 DC IN端子

29 リセットボタン

30 スピーカー

31 液晶モニター
- 液晶モニターの角度は、下向きに60度、上向きに96度動かせます。高い位置や低い位置に構えて撮影するときに便利です。可動範囲を超えて無理に液晶モニターを動かすと故障の原因になります。

32 バッテリー/メモリーカードカバー

33 バッテリー挿入口

34 取りはずしつまみ

35 アクセスランプ

36 メモリーカード挿入口

37 三脚用ネジ穴
- ネジの長さが5.5mm未満の三脚を使う。5.5mm以上の三脚ではしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。

38 (TransferJet™（トランスファージェット）)マーク

ジョグダイヤルを使う

ジョグダイヤルで以下の設定値を変えることができます。

- ISO
- シャッタースピード
- F値
- 明るさ（EV補正）

• 撮影モードによっては設定値を変更できない場合もあります。

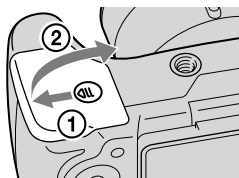
再生時には、画像の送り戻しができます。

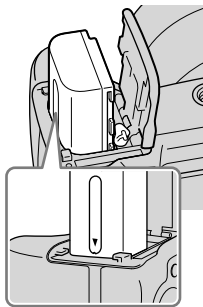
1 ジョグダイヤルを押して、項目を選ぶ

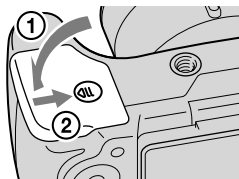
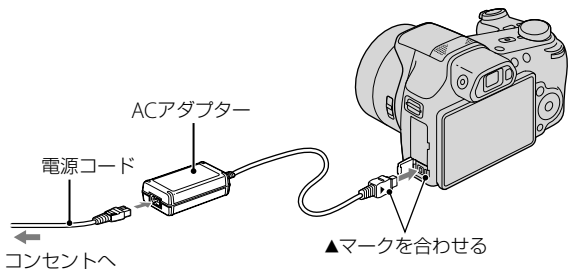
2 ジョグダイヤルを回して、設定値を変更する

バッテリー充電と使用可能枚数・時間

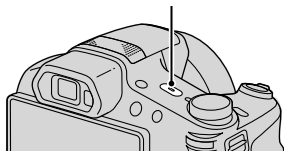
初めてお使いになるときは、バッテリーを充電してください。
バッテリーは、使わなくでも少しずつ放電しています。撮影機会を逃さないためにも、ご使用前にバッテリーの残量を確認し、消耗している場合は再度充電してください。

1 カバーを開ける。

2 バッテリーを入れる。

- バッテリーの向きを確認し、取りはずしつまみを矢印の方向に押しながら入れます。取りはずしつまみがロックされるまで押し込みます。

3 カバーを閉じる。

- 正しく挿入しないままカバーを閉めると、破損のおそれがあります。

4 本機のDC IN端子とACアダプター（付属)をつなぎ､電源コード(付属)をACアダプターとコンセントにつなぐ

電源/充電ランプがオレンジ色に点灯し､充電が始まる。

- 本機の電源を切った状態にしておいてください。
- 残量があるバッテリーも充電できます。
- 電源/充電ランプが点滅し充電が完了しなかった場合は､一度バッテリーを取り外し､再度装着してください。

電源/充電ランプ
点灯：充電中
消灯：充電終了
点滅：充電エラー
　　　温度上昇時の充電一時停止

ご注意

- ACアダプターをコンセントにつないでもカメラの電源/充電ランプが点滅する場合は、充電に適した温度範囲外にあるため一時待機状態になっています。充電に適した温度範囲に戻れば充電可能です。バッテリーの充電は周囲の温度が10℃～30℃の環境で行ってください。
- バッテリーの端子が汚れていると正しく充電できない場合があります。バッテリーの端子を乾いた布または綿棒などで拭いてください。
- 付属のACアダプターを取り付けるときは、お手近なコンセントをお使いください。使用中、不具合が生じたときはすぐにコンセントからプラグを抜き、電源を遮断してください。
- 充電が終わったら、ACアダプターをコンセントから抜いてください。
- 必ずソニー製純正のバッテリー、ACアダプターをお使いください。

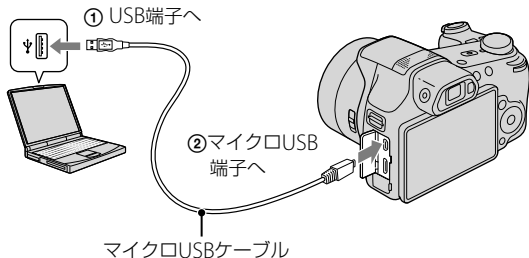
充電にかかる時間（満充電）

充電にかかる時間は、付属のACアダプターで約100分です。

ご注意

- バッテリー（付属）を使い切ってから、温度25 ℃の環境下で充電したときの時間です。使用状況や環境によっては、長くかかります。

パソコンに接続して充電する

マイクロUSBケーブルを使って、パソコンからの充電も可能です。
本機の電源を切った状態で接続してください。

ご注意

- パソコンから充電するときは、以下の点にもご注意ください。
  - 電源を接続していないノートパソコンと本機を接続した場合、ノートパソコンの電池が消耗していきます。長時間充電しないでください。
  - 本機をUSB接続したままパソコンの起動、再起動、スリープモードからの復帰、終了操作を行わないでください。本体が正常に動作しなくなることがあります。これらの操作は、パソコンから本機を取りはずしてから行ってください。
  - 自作のパソコンや改造したパソコンでの充電は保証できません。

バッテリーの使用時間と撮影/再生枚数

		使用時間	枚数
静止画撮影	液晶モニター	約225分	約450枚
	ファインダー	約245分	約490枚
動画撮影	液晶モニター	約120分	—
	ファインダー	約130分	—
静止画再生		約290分	約5800枚

ご注意

- 撮影枚数は満充電された状態での目安の枚数です。使用方法で枚数は減少する場合があります。
- 撮影可能枚数は、以下の条件で撮影した場合です。
  - 当社製の"メモリースティック PRO デュオ"(Mark2)(別売)を使用
  - 温度25℃の環境
  - [GPS方位]:[切]
  - [表示画質モード]:[標準]
- 静止画撮影時の数値は、CIPA規格により、以下の条件で撮影した場合です。(CIPA:カメラ映像機器工業会、Camera & Imaging Products Association)
  - DISP(画面表示設定):[入]
  - 30秒ごとに1回撮影
  - 1回ごとにズームをW側、T側に交互にいっぱいにする。
  - 2回に一度、フラッシュを発光する。
  - 10回に一度、電源を入/切する。
- 動画撮影時の数値は、以下の条件で撮影した場合です。
  - 動画画質:AVC HD HQ
  - 連続撮影の制限(95ページ)により撮影が終了したときは、再度MOVIE(動画)ボタンを押して撮影を続ける。ズームなどその他の操作はしない。

バッテリーの残量を確認する

モニター上に、バッテリー残量を表すアイコンが表示されます。

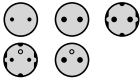
残量表示
60分
残量時間

ご注意

- 正しい残量を表示するのに約30秒かかります。
- 使用状況や環境によっては、正しく表示されません。
- [エコモード]設定が[標準]または[強]のときに電源を入れたまま一定時間操作しないと、モニターが暗くなり、その後自動で電源が切れます(オートパワーオフ)。

バッテリーについて

バッテリーの消費や使用可能時間については、102、107ページでも詳しく説明しています。

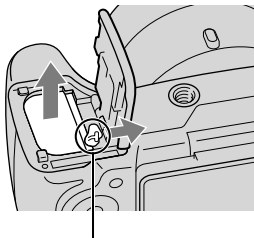
電力を供給する

本機はACアダプター（付属)を使ってコンセントから電力を供給できます。長時間の撮影や、テレビやパソコンに接続するときでもバッテリーの消費を気にせずに使用できます。
また、バッテリーが本機に入っていない場合でも、撮影・再生が可能です。

海外でも使えます

ACアダプター（付属）は全世界で使用できます（AC100 V ～ 240 V、50 Hz/60 Hz）。ただし、地域によってはコンセントの形状が異なるため、変換プラグアダプターが必要です。お出かけ前に、旅行代理店などで訪問先のコンセントの形状を確認し、必要に応じてご用意ください。

電子式変圧器（トラベルコンバーター）は使用できません。故障の原因になります。

コンセント形状例	地域	変換プラグアダプター
	主に北米	不要
	主にヨーロッパ	必要

バッテリーを取り出す

取りはずしつまみ

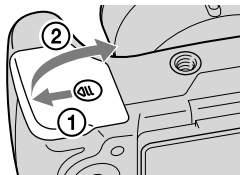
取りはずしつまみをずらす。バッテリーが落下しないように注意する。

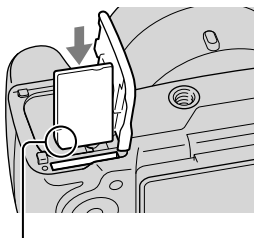
ご注意

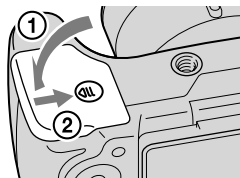
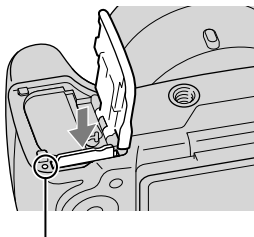
- 本機から取り出したバッテリーは、接点汚れ、ショートなどを防止するため、携帯、保管時は必ずポリ袋などに入れて金属から離してください。

メモリーカード(別売)を入れる

本機で使用できるメモリーカードは、"メモリースティック デュオ"とSDカードです。詳しくは、93ページをご覧ください。

1 カバーを開ける。

2 メモリーカード(別売)を入れる。

- 切り欠き部をイラストの向きにして、カチッというまで押し込みます。

切り欠きの向きに注意する

3 カバーを閉じる。

メモリーカードを取り出す

アクセスランプ

アクセスランプが消えていることを確認して、メモリーカードを押す。

ご注意

- アクセスランプ点灯中は、メモリーカード/バッテリーを取り出さないでください。データやメモリーカードが壊れることがあります。

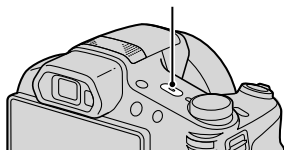
メモリーカードを入れていないときは

本体に内蔵されているメモリー（約105MB）に画像が記録されます。内蔵メモリーの画像をメモリーカードにコピーする場合は、本機にメモリーカードを入れ、MENUボタン → (設定) → (メモリーカードツール) → ［コピー］を選びます。

日時とモニターの色を設定する

1 ON/OFF（電源）ボタンを押す。

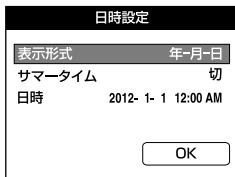
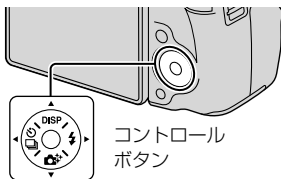
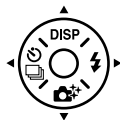
電源が入る。電源ランプが緑色に点灯する。

- 電源を入れたとき、操作ができるまでに時間がかかることがあります。

2 [東京/ソウル]が選ばれていることを確認し、コントロールボタン中央の●を押す。

3 コントロールボタンの▲/▼で設定する項目を選び、中央の●を押す。

表示形式：日付表示順を選ぶ。

サマータイム：サマータイムの入・切を選ぶ。

日時：日付、時刻を設定する。

4 ▲/▼/◀/▶で数値、好みの設定を選び、中央の●を押し、[OK]を押す。

- 真夜中は12:00AM、正午は12:00PMとなります。

5 モニターの指示に従って操作する。

- 以上の場合はバッテリーの消費が早くなります。
  - [GPS方位]を[入]にする
  - [表示画質モード]を[高画質]にする

日付と時刻を合わせ直す

はじめて電源を入れたときのみ、自動で日時設定画面が開きます。日時を合わせ直すときは、MENUボタンを押して、(設定)→ (時計設定)→[日時設定]を選び、日時設定画面を開いてください(92ページ)。

パソコンに「PlayMemories Home」をインストールする

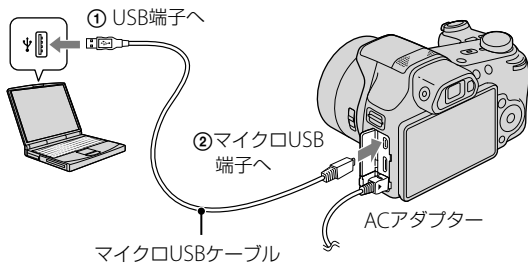
本機に内蔵されているソフトウェア「PlayMemories Home」を使うと、撮影した静止画や動画をパソコンに取り込んで画像の活用ができます。「PlayMemories Home」をインストールしなくても本機での撮影・再生などの操作は可能ですが、AVCHD動画をパソコンに取り込む場合は「PlayMemories Home」が必要です。

1 パソコンの推奨環境を確認する。

OS（工場出荷時にインストールされていること）：Microsoft Windows XP* SP3/Windows Vista SP2/Windows 7 SP1（「PlayMemories Home」はWindows専用です）

CPU：Intel Pentium Ⅲ 800 MHz以上
HD動画再生・編集時は、Intel Core Duo 1.66 GHz以上/Intel Core 2 Duo 1.66 GHz以上、Intel Core 2 Duo 2.26 GHz以上（AVC HD（FX/FH））、Intel Core 2 Duo 2.40 GHz以上（AVC HD（PS））

* 64bit版は除きます。「拡張機能」をインストールしてディスク作成機能をご使用の場合、Windows Image Mastering API（IMAPI）Ver.2.0 以上が必要です。

2 本機とパソコンの電源を入れ、マイクロUSBケーブル(付属)で接続する。

Windows 7：デバイスステージが表示される。

- 残量の少ないバッテリーを使用すると、インストールできなかったり、データが壊れたりすることがあります。ACアダプターを接続してのインストールをおすすめします。

3 Windows 7: デバイスステージ上で「PlayMemories Home」を選ぶ。Windows XP/Windows Vista: [コンピュータ](Windows XPでは[マイコンピュータ]）→[PMHOME] →「PMHOME.EXE」をダブルクリックする。

4 モニターの指示に従ってインストールを進める。

インストール完了後、「PlayMemories Home」(Lite版)が起動する。

- 「拡張機能」のインストール案内が表示されます。引き続きモニターの指示に従ってインストールしてください。
- 「拡張機能」のインストールにはインターネットに接続する必要があります。初回起動時にインストールしなかった場合は、「拡張機能」でしか使えない機能をクリックしたときにインストールの案内が表示されます。
- 「PlayMemories Home」について詳しくは、69ページをご覧ください。

ご注意

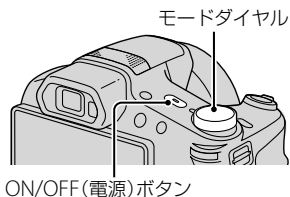
- パソコンにはコンピュータの管理者権限でログオンしてください。
- MENU → (設定) → (本体設定) → [LUN設定]を[マルチ]にしてください。
- Windows 7使用時に、デバイスステージが起動しないときは、[コンピュータ]をクリックし、カメラアイコン → メディアアイコン → 「PMHOME.EXE」をダブルクリックしてください。
- すでに「PlayMemories Home」がインストールされている場合でも、本機をパソコンに接続して「PlayMemories Home」に登録してください。使用できる機能が有効になります。
- 「PlayMemories Home」は、Macには対応していません。Macで再生する場合は、Macに搭載されているアプリケーションをご利用ください。Macのご利用については71ページをご覧ください。
- PMB(Picture Motion Browser)がインストールされている場合、「PlayMemories Home」が上書きインストールされます。「PMB」の機能で一部ご使用いただけなくなる機能があります。

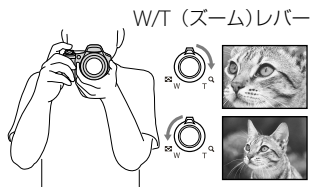
PlayMemories Homeでできること

- 撮影日ごとにカレンダー上に整理して閲覧
- 赤目補正などの静止画補正、撮影日時の変更
- プリント、メール送信
- 画像に日時を挿入 など

拡張機能をインストールすると、AVCHD動画をディスクに保存するなど、さらに多くの機能を使えるようになります。

撮る(静止画)

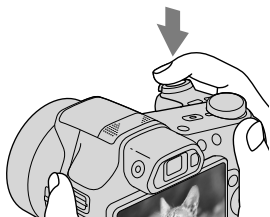
1 モードダイヤルを i📷(おまかせオート撮影)にして、ON/OFF(電源)ボタンを押す。

2 脇を締めて構え、構図を決める。

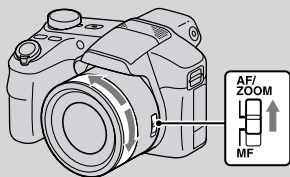
- W/T (ズーム)レバーをT側へ動かすとズームし、W側へ動かすと戻ります。

3 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる。

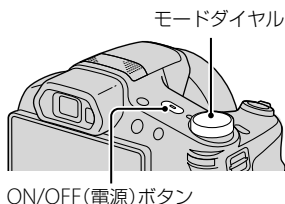
ピントが合うと「ピピッ」という音がして●が点灯する。

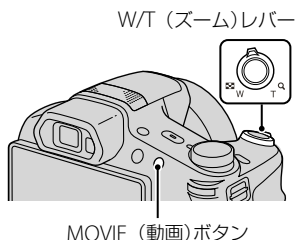
- ピントが合う最短距離はレンズ先端からW側約1 cm、T側約2 m。
- 本機では状況に応じて、自動でマクロ撮影になります。

撮って、見る

4 シャッターボタンを深く押し込む。

マニュアルリングでズームする

- ズーム/フォーカススイッチをAF/ZOOMに切り換えて、マニュアルリングを動かしてもズームできます。
- 本機は光学30倍までズームします。さらに倍率を上げてズームすることもできます（35ページ）。

撮る（動画）

1 モードダイヤルを 目目（動画撮影）にして、ON/OFF（電源）ボタンを押す。

2 MOVIE（動画）ボタンを押して、撮影を開始する。

- W/T（ズーム）レバーをT側へ動かすとズームし、W側へ動かすと戻ります。
- ズーム/フォーカススイッチをAF/ZOOMにして、マニュアルリングでズームすることもできます。

3 もう一度MOVIEボタンを押して、終了する。

ご注意

- 動画記録中にズームを操作すると、レンズの動作音、レバー、ジョグダイヤル、マニュアルリングなどの操作音が記録されます。また、動画終了時、MOVIEボタンの操作音が記録されることがあります。
- 連続撮影可能時間は約25℃で出荷時設定の場合、1回につき約29分です。撮影が終わってしまったら、もう一度MOVIEボタンを押すと撮影を再開できます。撮影環境温度によっては、機器保護のため停止する場合があります（5ページ）。

撮って、見る

MOVIEボタンについて

モードダイヤルがどこに設定されていても、MOVIEボタンを押せば動画撮影が可能です。

動画記録方式を変更する

MENU → (設定) → (撮影設定) → [動画記録方式]を選ぶ(90ページ)。

動画を撮りながら静止画を撮る(デュアル記録)

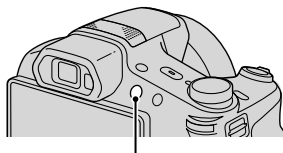
動画撮影中にシャッターボタンを押すと、動画撮影を中断することなく静止画も撮影できます。

ご注意

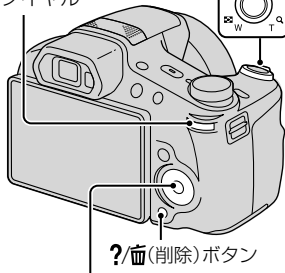
- 動画画質が[AVC HD 28M (PS)]の場合は、デュアル記録はできません。
- シャッターボタンの操作音が記録されることがあります。
- 静止画の画像サイズは MENU → [静止画サイズ(デュアル記録)]で選べます。
- スマイルシャッターが設定されているときは、笑顔を感知すると自動でシャッターが切れます。
- デュアル記録時のフラッシュ撮影はできません。

見る

1 ▶（再生）ボタンを押す。

- 他機で撮影したメモリーカードの画像を再生すると、管理ファイル登録画面が表示されます。

次の画像/前の画像を選ぶ

コントロールボタンの▶（次）/◀（前）を押す、またはジョグダイヤルを左右に回して選ぶ。

- 動画を再生するには、コントロールボタン中央の●を押してください(65ページ)。
- ズームするには、W/T（ズーム）レバーをT側(Q)に動かしてください。

削除する

① ?/🗑(削除)ボタンを押す。
② コントロールボタンの▲で[この画像]を選び中央の●を押す。

撮影に戻る

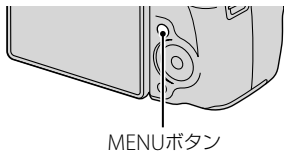
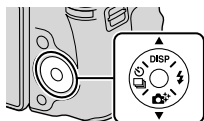
▶（再生）ボタンを押す。
- シャッターボタンを半押ししても撮影に戻ります。

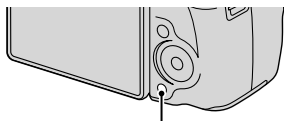
電源を切る

ON/OFF（電源）ボタンを押す。

本機で使いかたを調べる（カメラ内ガイド）

本機はカメラ内に使いかたの情報を収録しているため、「知りたいこと」、「したいこと」をその場で探すことができます。
また、確認した後は、そのモードを実際に使ってみることもできます。

1　MENUボタンを押す。

2　コントロールボタンの▲/▼で説明を見たい項目を選ぶ。

3　?/🗑（カメラ内ガイド）ボタンを押す。

手順2で選んだ項目の説明が表示される。

4　▲/▼で概要、操作方法、詳細と画面が切り替わる。

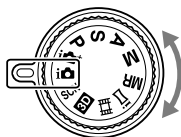
- MENUを表示していない状態で?/🗑（カメラ内ガイド）ボタンを押すと、キーワードやアイコンから検索することもできます。
- 終了するときは、?/🗑（カメラ内ガイド）ボタンを押します。

ご注意

- かんたんモード中は、?/🗑（カメラ内ガイド）ボタンは無効になります。

静止画の撮影モードを変える

撮りたい被写体や、操作したい機能に合わせて、モードダイヤルで撮影モードを設定します。

1 **モードダイヤルをまわして好みのモードを選ぶ。**

カメラまかせで自動撮影する

露出（シャッタースピードと絞り）など、多くの機能が自動で設定されます。

（おまかせオート撮影）	シーンを認識し、自動設定で撮影する。
（プレミアムおまかせオート）	カメラまかせでシーンとコンディションを認識し、暗いシーンなどで自動で複数枚撮影して、重ね合わせ処理できれいに撮影する。 • 重ね合わせ処理には、若干の時間がかかります。
SCN（シーンセレクション）	撮影条件に合わせて、あらかじめ用意された設定で撮影する。

かんたんモードについて

（おまかせオート撮影）時に、MENU → EASY（かんたんモード）で、必要最低限の機能を使って撮影するかんたんモードになります。文字が大きくなり、表示が見やすくなります。

好みの設定で撮影する

ジョグダイヤルを押してISO感度を変更したり、MENUで多彩な機能を設定できます。

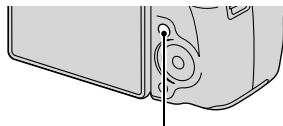
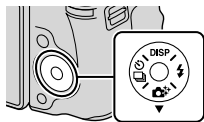
P（プログラムオート撮影）	露出(シャッタースピードと絞り)は自動設定される。ISO感度を変更したり、MENUで多彩な機能を設定できる。
S（シャッタースピード優先撮影）	動きの速いものを撮るときなど、シャッタースピードを設定して撮影する。
A（絞り優先撮影）	背景をぼかしたいときなど、絞り値を設定して撮影する。
M（マニュアル露出撮影）	シャッタースピードと絞りを手動で設定して、好みの露出で撮影できる。
MR（登録設定の呼び出し）	あらかじめ登録しておいた、よく使うモードやカメラの設定を呼び出して撮影できる。

その他

i（スイングパノラマ）	画像を合成してパノラマ画像を撮影できる。
（動画撮影）	動画撮影シーンの変更ができる（56、84ページ）。動画撮影に関する設定が変更できる。
3D（3D撮影）	画像を合体して3D画像を撮影できる。

よりきれいにズームする

[全画素超解像ズーム]を[入]に設定すると、光学ズームを超えても、ほとんど劣化しない静止画を撮影できます。

1 MENUボタンを押す。

2 コントロールボタンの▼で 🧰(設定)を選び、中央の●を押す。

3 ▲/▼/◀/▶で 📷(撮影設定)を選び、[全画素超解像ズーム] → [入] → 中央の●を押す。

光学ズーム以外のズームを使う

本機は光学30倍までズームします。
最大画像サイズ以外に設定した場合は、画質が劣化しない範囲で光学倍率を超えてズームします。

さらに倍率を上げるには

[全画素超解像ズーム]：画質をほとんど劣化させずに元のズーム倍率の2倍まで倍率を上げることができます。
[デジタルズーム]：最大459倍までズームできます(VGA時)。ただし、ズーム倍率によっては画質が劣化する場合があります。

ズーム倍率

画像サイズによって、ズームできる倍率は変わります。

画像サイズ	画像が劣化しない範囲のズーム	[全画素超解像ズーム]を[入]にしてズーム
18M	30倍(光学ズームのみ)	60倍
10M	40倍	80倍
5M	56倍	113倍
VGA	229倍	459倍
16:9(13M)	30倍(光学ズームのみ)	60倍
16:9(2M)	76倍	153倍

状況を自動判別して撮る

撮影モードを(おまかせオート撮影)、(プレミアムおまかせオート)、または動画の(おまかせオート撮影)にすると、カメラが自動でシーンを認識して最適な設定で撮影します。

- (動画撮影)の場合は、MENU → (動画撮影シーン) → (おまかせオート撮影)を選択してください。

1 被写体にカメラを向ける。

認識されたシーンのマークとガイドがモニターに表示される。

上段：(人物)、(赤ちゃん)、(夜景&人物)、(夜景)、(逆光&人物)、(逆光)、(風景)、(マクロ)、(スポットライト)、(低照度)

下段：(三脚)、(動き)、(歩き)

シーン認識マークとガイド
(ガイドは上段のみ)

- (歩き)は、動画撮影時に[動画手ブレ補正]が[アクティブ]に設定されているときのみシーン認識します。

2 シャッターボタンを半押ししてピントを合わせてから、シャッターボタンを深く押し込んで撮影する。

オート撮影の特徴

プレミアムおまかせオートは、おまかせオート撮影よりもさらに高画質で撮影し、必要に応じて重ね合わせ撮影を行います。
プログラムオート撮影は、ホワイトバランスやISOなど多彩な機能の設定を変えて撮るときに使います。

撮影モード	こんなときに使う	制限される主な機能
i(おまかせオート撮影)	• カメラまかせでシーン認識をして、何枚も続けて撮影したいとき	フラッシュの強制発光
i+（プレミアムおまかせオート）	• 暗いシーンや逆光などの失敗しやすいシーンをきれいに撮影したいとき • i(おまかせオート撮影)よりも高画質な画像を撮影したいとき	連写、スマイルシャッター
P(プログラムオート撮影)	• 露出(シャッタースピードと絞り)以外の多彩な撮影機能を自分で調整して撮影したいとき	おまかせシーン認識

ご注意

- [おまかせオート撮影]では、暗いシーンや逆光のシーンなどを美しく撮影できないことがあります。
- [プレミアムおまかせオート]では、重ね合わせ処理をするため、記録処理に時間がかかります。

被写体にピントを合わせ続けて撮る（追尾フォーカス）

被写体が動いても、自動でピントを合わせ続けます。

1 被写体に本機を向け、コントロールボタン中央の●を押す。

2 ターゲット枠を追尾フォーカスする被写体に合わせて、中央の●を押す。

ターゲット枠

- シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる前なら、何度でもやり直しできます。
- ピント合わせを解除したいときは、もう一度中央の●を押します。

優先したい顔を登録する（選択顔記憶）

顔検出中に追尾フォーカスを行うと、優先したい顔を自分で選んで登録できます。顔を追尾しているときは、被写体がモニターから消えても、登録した顔が再びモニターに映った場合には登録した顔でピント合わせをします。

① 顔検出中に、コントロールボタン中央の●を押す。

ターゲット枠が表示される。

② 顔検出していた顔にターゲット枠を合わせて、中央の●を押す。

選択された顔が優先顔として登録され、二重枠表示に変わる。

③ 登録を解除したい場合は、もう一度中央の●を押す。

パノラマ画像を撮る（顔・動き検出対応）

カメラを動かす間に複数の画像を撮影し、合成して1枚のパノラマ画像を作成します。パノラマ画像はソフトウェア「PlayMemories Home」でも再生できます。

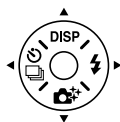
1 モードダイヤルをi⊏⊐（スイングパノラマ）にする。

［3Dスイングパノラマ］、［スイングマルチアングル］を撮影する場合は、モードダイヤルを 3D（3D撮影）にして、好みのモードを選択。

2 コントロールボタンで撮影方向を選ぶ。

▲ 下から上に移動/▼ 上から下に移動

▶ 左から右へ移動/◀ 右から左へ移動

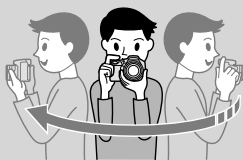
- ［スイングマルチアングル］のときは撮影方向を決められません。

3 撮りたい被写体の端にカメラを合わせ、シャッターボタンを押す。

撮影されない部分

4 モニター上の矢印方向に、カメラをガイドの終端まで動かす。

ご注意

- 他機で記録されたパノラマ画像は、正しくスクロール再生されない場合があります。

パノラマ撮影のポイント

体を軸に、一定の速度で小さな円を描くように、モニターの矢印方向と平行に動かす（半周5秒が目安です）。

速すぎたり遅すぎたりするときは、モニターにメッセージが表示されます。実際の撮影の前にあらかじめ何度か練習しておくことをおすすめします。スイングマルチアングルでの撮影時は、中心にしたい被写体に対して、左右30度を目安にスイングしてください。

- 被写体と背景との距離を充分にたもったり、屋外などの明るい場所で撮ることもポイントです。

スイングマルチアングル画像を立体的に見る

本機を左右に傾けることにより、[スイングマルチアングル]で撮影した画像を立体的に見ることができます。

① 再生モードにして、スイングマルチアングル画像を表示する。

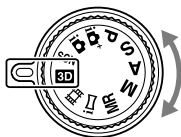
② コントロールボタン中央の●を押す。

③ 本機を左右に傾ける。

- [3D静止画]、[3Dスイングパノラマ]で撮影した画像は、本機のモニターで立体的に見ることはできません。

3D画像を撮る

3D対応テレビで3D表示できる画像を撮影します。

1 モードダイヤルを3D（3D撮影）にする。

2 コントロールボタンの◀/▶を押して好みのモードを選び、中央の●を押す。

（3D静止画）：3D対応テレビで立体的に見える画像を撮影できる。

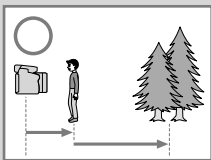
（3Dスイングパノラマ）：カメラを左右に動かし3D対応テレビで立体的に見えるパノラマ画像を撮影する。

（スイングマルチアングル）：本機を左右に傾けて立体的に見ることのできるパノラマ画像と3D対応テレビで立体的に見えるパノラマ画像を撮影する。

3 以下の手順で撮影する。

（3D静止画）：シャッターボタンを押す。

（3Dスイングパノラマ）／（スイングマルチアングル）：スイングパノラマ（39ページ）と同様に撮影する。

3D静止画で撮影するときのポイント

イラストのように被写体に近づき、被写体と背景の距離は大きくとってください。

暗すぎるシーンや動きのある被写体を撮影した場合、またAE/AFロック後にカメラを動かした場合は、3D効果がはっきり出ない場合があります。

また、暗い場所で撮影した場合、ノイズが強調されることがあります。

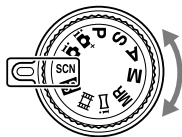
- 3D静止画を撮影する場合、画像サイズは[18M]または[16:9(13M)]しか選べません。

被写体の背景をぼかして撮る(背景ぼかし)

画像処理によって背景をぼかして被写体を際立たせた画像を撮影できます。

---

1 **モードダイヤルをSCN(シーンセレクション)にする。**

---

2 **コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で(背景ぼかし)を選び、中央の●を押す(57ページ)。**

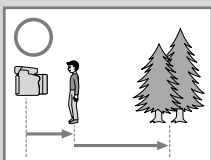
- 撮影前にMENU→[ぼかし効果]で背景のぼかし効果を変更できます。

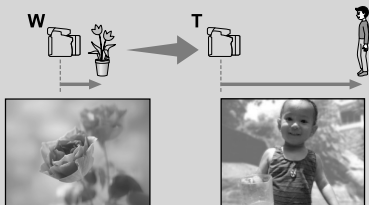
---

3 **シャッターボタンを押す。**

背景ぼかし撮影のポイント

撮影モードを[背景ぼかし]にすると、画像処理によって背景をぼかして被写体を際立たせた画像を撮影できます。以下のポイントを参考にして、うまく背景をぼかしましょう。

被写体と背景の位置

イラストのように被写体と背景の間の距離を大きくとると、背景をぼかして撮影できます。被写体と本機の距離を、モニターに表示される推奨距離内におさめてください。

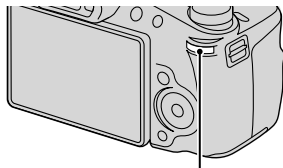
ズーム倍率と被写体の位置

花や小物などに近づいて撮影するときは、W/T（ズーム）レバーをW側にしましょう。人物を撮影するときは、被写体から少し離れてレバーをT側にしましょう。

- 動く被写体を撮影すると、うまく背景がぼけないことがあります。

動くものの表現を変えて撮る（シャッタースピード優先撮影）

シャッタースピードを手動で調節できます。

1　モードダイヤルをS（シャッタースピード優先撮影）にする。

2　ジョグダイヤルを押す。

3　ジョグダイヤルを回して、シャッタースピードの設定値を選ぶ。

- 1/4000から30秒の範囲で選びます。
- ジョグダイヤルを押して、EV値、ISOも選んで設定できます。

4　シャッターボタンを押す。

ご注意

- ISO感度が4000以上になっていると、シャッタースピードが1/4より遅くなりません。1/4より遅くしたい場合は、ISO感度を3200以下にしてください。

シャッタースピードについて

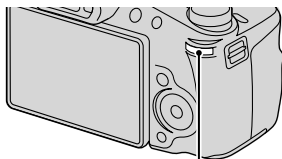
シャッタースピードを早くすると、走っている人や車、波しぶきなどの動きのあるものが止まって見えます。

シャッタースピードを遅くすると、川の流れなどの軌跡が残り、より自然な流動感のある画像になります。

背景のぼかし具合を調節して撮る（絞り優先撮影）

レンズを通過する光量を手動で調節できます。

1 モードダイヤルをA（絞り優先撮影）にする。

2 ジョグダイヤルを押す。

3 ジョグダイヤルを回して、絞り値（F値）の設定値を選ぶ。

- F2.8からF8.0の範囲で選びます。
- シャッタースピードは1/2000秒から8秒の間で自動調整されます。
- ジョグダイヤルを押して、EV値、ISOも選んで設定できます。

4 シャッターボタンを押す。

絞りについて

F値を小さくする（絞りを開ける）と、ピントの合う範囲は前後に狭くなり、背景をぼかして、被写体をくっきりと表現できます。

F値を大きくする（絞りを閉じる）と、ピントの合う範囲は前後に広がり、風景の広がりを表現できます。

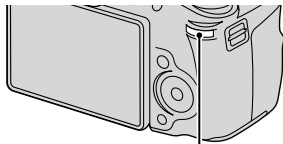
思い通りの露出で撮る（マニュアル露出撮影）

シャッタースピードと絞り（F値）を調節して、好みの露出で撮影します。設定した露出は電源を切っても保持されるため、後でモードダイヤルを**M**（マニュアル露出撮影）にしたときも同じ露出を再現できます。

1 モードダイヤルを**M**（マニュアル露出撮影）にする。

2 ジョグダイヤルを押して、設定する項目を選ぶ。

ジョグダイヤル

- 押すたびに設定できる項目が変わります。
- シャッタースピード、絞り(F値)またはISOを設定できます。
- フォーカスを任意のポイントに合わせるには、（フレキシブルスポットAF）か（マニュアルフォーカス）を選び、以下の操作でピントを合わせてください。
- FOCUSボタンを押す → （フレキシブルスポットAF）を選ぶ → ▲/▼/◀/▶でピント位置を決定
- ズーム/フォーカススイッチをMFにする → マニュアルリングでピント位置を決定

3 ジョグダイヤルを回して、設定値を選ぶ。

4 シャッターボタンを押す。

ご注意

- ISO感度が4000以上になっていると、シャッタースピードが1/4より遅くなりません。1/4より遅くしたい場合は、ISO感度を3200以下にしてください。

登録した設定を呼び出して撮影する

よく使うモードやカメラの設定の組み合わせを登録しておき、MR（登録設定の呼び出し）で呼び出して使うことができます。3パターンまで登録することができます。

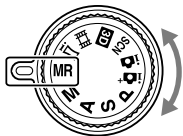
設定を登録する

1 モードダイヤルをP（プログラムオート撮影）、S（シャッタースピード優先撮影）、A（絞り優先撮影）、M（マニュアル露出撮影）、またはSCN（シーンセレクション）にして、登録したい設定にする。

- P/S/A/M/SCNで設定可能な撮影に関する設定はすべて登録できます。ただし、マニュアルフォーカスの設定は登録できません。

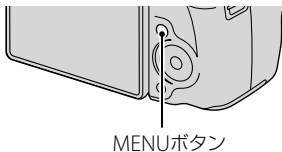
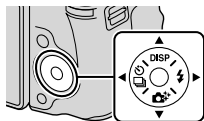
2 MENU → MR SET（設定を登録） → コントロールボタンの◀/▶で、好みの番号を選ぶ → 中央の● → [OK] → 中央の●

登録した設定を呼び出す

1 モードダイヤルをMR（登録設定の呼び出し）にする。

2 コントロールボタンの◀/▶で、呼び出したい番号を選び、中央の●を押す。

用途に合わせて画像のサイズ/画質を選ぶ

画像サイズは画像を記録するときの大きさのことです。
画像サイズが大きいほど、大きな用紙にも詳細にプリントできます。
小さくすると、たくさん撮影できます。
動画の場合、画像サイズは大きいほど高精細になります。1秒間に使用されるデータ量（平均ビットレート）は、高いほど画質が向上します。

1 MENUボタンを押す。

2 コントロールボタンの▲/▼/◀/▶を押して好みの画像サイズや画質を選び、中央の●を押す。

- 選択できる画像サイズは、カメラの設定によって変わります。

静止画画像サイズ	用途例
4:3 18M (4896 × 3672)	A3ノビサイズまでの印刷
4:3 10M (3648 × 2736)	A3サイズまでの印刷
4:3 5M (2592 × 1944)	L/2L/A4サイズまでの印刷
4:3 VGA (640 × 480)	Eメールに添付
16:9 13M (4896 × 2752)	ハイビジョン対応テレビでの鑑賞やA3ノビサイズまでの印刷
16:9 2M (1920 × 1080)	ハイビジョン対応テレビでの鑑賞

パノラマ画像サイズ	説明
16:9 2M 16:9	左右：1920 × 1080で撮影 3D撮影時に選択できます。
STD 標準	左右：4912 × 1080で撮影 上下：3424 × 1920で撮影 撮影時のカメラの最大回転角度は126です。
WIDE ワイド	左右：7152 × 1080で撮影 上下：4912 × 1920で撮影 撮影時のカメラの最大回転角度は184です。
HR 高解像	左右：10480 × 4096で撮影

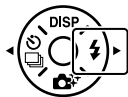
動画画質	平均ビットレート	説明
PS AVC HD 28M (PS)	28Mbps	1920 × 1080（60p）の最高画質で撮影
FX AVC HD 24M (FX)	24Mbps	1920 × 1080（60i）の最高画質で撮影
FH AVC HD 17M (FH)	17Mbps	1920 × 1080（60i）の高画質で撮影
HQ AVC HD 9M (HQ)	9Mbps	1440 × 1080（60i）の標準画質で撮影

動画サイズ	平均ビットレート	説明
1080 MP4 12M	12Mbps	1440 × 1080で撮影
720 MP4 6M	6Mbps	1280 × 720で撮影
VGA MP4 3M	3Mbps	VGAサイズで撮影

ご注意

- 16:9やスイングパノラマで撮影した静止画画像は、プリント時に両端が切れることがあります。パノラマ印刷については68ページもご覧ください。
- [AVC HD 28M (PS)]または[AVC HD 24M (FX)]で撮影した動画からAVCHD記録ディスクを作成すると、画質が変換されるため、ディスク作成に時間がかかります。画質を変換せずに保存したい場合は、ブルーレイディスクをお使いください（72ページ）。

フラッシュモードを選ぶ

1 コントロールボタンの⚡（フラッシュ）を押し、◀/▶を押して好みのモードを選び、中央の●を押す。

⚡AUTO（オート）：暗い場所、または逆光のとき、自動で発光する。

⚡（強制発光）：必ず発光する。

⚡SL（スローシンクロ）：必ず発光する。暗い場所ではシャッタースピードを遅くし、フラッシュが届かない背景も明るく撮影する。

⚡SL REAR（後幕スローシンクロ）：必ず発光する。動きのある被写体などに使う。シャッターを閉じる直前に発光し、被写体の後方に光跡や残像を残して撮影する。

（発光禁止）：発光しない。

ご注意

- ズームをW側にしてフラッシュ撮影すると、撮影状況によってはレンズの影が写ることがあります。この場合はズームをT側にしてフラッシュ撮影してください。

使用可能なフラッシュモード

設定している撮影モードや機能によって、選べるフラッシュモードが異なります。

下の表で○は変更可能、×は変更不可能を表しています。

撮影モード		オート	強制発光	スローシンクロ/後幕スローシンクロ	発光禁止
おまかせオート撮影		○	×	×	○
プレミアムおまかせオート		○	×	×	○
プログラムオート撮影		○	○	○	○
シャッタースピード優先撮影		×	○	×	○
絞り優先撮影		×	○	○	○
マニュアル露出撮影		×	○	×	○
3D撮影*		×	×	×	○
ピクチャーエフェクト		×	○	×	○
スイングパノラマ*		×	×	×	○
かんたんモード		○	×	×	○
シーンセレクション		○	○	○	○
	* * * * * * * *	×	×	×	○
		×	○	×	○
		×	×	○	×
連写・ブラケット*		×	×	×	○

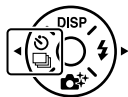
* これらの撮影モードではフラッシュ撮影はできません。

ご注意

- MR（登録設定の呼び出し）時は、設定によって選べるフラッシュモードが変わります。

連続して撮る

1枚撮影、連写撮影またはブラケットから撮影モードを選べます。

1 コントロールボタンの◌/◻(連写設定/セルフタイマー)を押し、◀/▶を押して好みのモードを選ぶ。

1枚撮影：1枚撮影する。

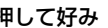
連写：シャッターボタンを押し続けている間、1回の撮影で、最大10枚連写する。

ブラケット：設定を変えて静止画を3枚撮影する。

連写速度を変えるには

MENU → [連写速度]で、[高][低]から連写速度を選べます。

連写画像を動画のように見る

本機を左右に傾けることにより、連写した静止画を動画のように見ることができます。

① 再生モードにして、連写画像を表示する。

② コントロールボタン中央の●を押す。

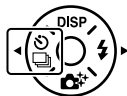
③ 本機を左右に傾ける。

- [ビューモード]を[日付ビュー]、[連写グループ表示]を[グループ代表画像のみ表示]に設定したときのみ連写を動画のように見ることができます。

ブラケット設定を変えるには

MENU → [ブラケット設定]で[EXP±0.3]、[EXP±0.7]、[EXP±1.0]、[色合い(ホワイトバランス)]からブラケットの設定を選べます。

セルフタイマー/自分撮り機能を使う

1 コントロールボタンの⏲/⧉（連写設定/セルフタイマー）を押し、◀/▶を押して好みのモードを選び、中央の●を押す。

⏲10（10秒）：10秒後に撮影。自分も一緒に写りたいときに使う。
シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが点滅して「ピッピッピッ」と操作音が鳴り、撮影が開始される。解除するにはもう一度⏲を押す。

⏲2（2秒）：2秒後に撮影。シャッターボタンを押したときのブレが軽減できるため、手ブレが起こりにくくなる。

⏲（自分撮り1人）/⏲（自分撮り2人）：カメラが人物の顔を検出して自動撮影。自分にカメラを向けて撮影するときに使う。
設定した人数の顔を検出すると「ピピッ」と音が鳴り、2秒後に撮影が開始される。

⏲⧉（セルフタイマー（連写））：シャッターボタンを押して10秒後に10枚連写撮影する。

⏲BRK（セルフタイマー（ブラケット））：シャッターボタンを押して10秒後にブラケット撮影する。

「自分撮り」で自動撮影

設定した人数の顔が映るようにレンズを自分に向けると撮影が開始されます。ピピッと音が鳴ったらカメラを動かさないでください。

- 待機中にシャッターボタンを押すと、通常撮影もできます。

撮影情報のモニター表示を変える

1 **コントロールボタンのDISP（画面表示設定）を押し、▲/▼を押して好みのモードを選ぶ。**

（切）：画像のみを表示する。

（水準器）：カメラの左右の傾きを示す指標を表示する。水平状態のときは緑色になる。

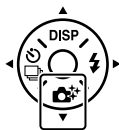
（詳細表示）：情報を表示する。撮影した画像のExifデータ、ヒストグラムも表示される。

（入）：情報を表示する。

マイフォトスタイルで設定を変更する

マイフォトスタイルは、通常の画面とは異なるデザインで直感的にカメラを操作できるモードです。撮影モードがi（おまかせオート撮影）とi+（プレミアムおまかせオート）のときに、かんたんな操作で設定を変更して撮影できます。

1 **モードダイヤルを i（おまかせオート撮影）またはi+（プレミアムおまかせオート）にする。**

2 **コントロールボタンの（マイフォトスタイル）を押し、◀/▶を押して設定を変更する項目を選ぶ。**

（明るさ）：明るさを調整する。

（色合い）：色合いを調整する。

（鮮やかさ）：鮮やかさを調整する。

（ピクチャーエフェクト）：好みの効果を選んで、独自の風合いで撮影する。

撮影に便利な機能を使う

3 コントロールボタンの▲/▼を押して、中央の●を押す。

マイフォトスタイルの撮影画面に戻る。

- この手順を繰り返して色々な設定を組み合わせることができます。

4 静止画の場合：シャッターボタンを押して撮影する。
動画の場合：MOVIEボタンを押して撮影を開始する。

- マイフォトスタイルを終了するには、MENUボタンを押します。

注意

- マイフォトスタイルで動画を撮影する場合、記録中に設定を変更できません。
- [おまかせオート撮影]に戻ったり、電源を切ると、各設定は初期設定に戻ります。
- プレミアムおまかせオート撮影時は、重ね合わせ技術を使えません。

場面に合った撮影モードを使う（シーンセレクション）

1 モードダイヤルをSCN（シーンセレクション）または🎞（動画撮影）にする。

- 🎞（動画撮影）の場合は、MENU → i🎞（動画撮影シーン） → SCN（シーンセレクション）

2 コントロールボタンの▲/▼/◀/▶を押して好みのモードを選び、中央の●を押す。

• ほかのシーンにしたいときは、 MENUボタンを押して、選び直します。

（美肌）＊：人物の肌をなめらかに補正する。

（背景ぼかし）＊：背景をぼかして被写体を際立たせた画像を撮影する。

（ソフトスナップ）：人物や花などを、やさしい雰囲気で撮影する。

（人物ブレ軽減）＊：室内で人物撮影をする場合、フラッシュを使わずにブレを軽減する。

（風景）：遠景にピントを合わせ、青空や草木の色を鮮やかに撮影する。

（逆光補正HDR）＊：露出の異なる3枚の画像を撮影し、階調豊かな1枚の画像に合成する。

（夜景＆人物）＊：夜景の雰囲気を損なわずに、手前の人物を際立たせる。

（夜景）：暗い雰囲気を損なわずに、遠くの夜景を撮影する。

（手持ち夜景）＊：三脚を使わなくてもノイズの少ないきれいな夜景を撮影する。

（高感度）：暗いところでも、フラッシュを使わずにブレを軽減する。

（料理）＊：料理を明るく美味しそうに撮影する。

（ペット）＊：ペットを最適な設定で撮影する。

（ビーチ）：太陽の光の下でも、明るく鮮やかに撮影する。

（スノー）：雪景色などの画面全体が白くなるような場所で、画面が沈みがちになるのを防ぐ。

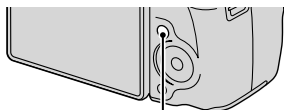
（打ち上げ花火）：打ち上げ花火をきれいに撮影する。

（アドバンストスポーツ撮影）＊：スポーツなど動きのある被写体を撮影するときに使用する。

＊［動画撮影シーン］の［シーンセレクション］では選べません。

独自の風合いが出る効果を使う（ピクチャーエフェクト）

1 モードダイヤルを **P**（プログラムオート撮影）、**S**（シャッタースピード優先撮影）、**A**（絞り優先撮影）または **M**（マニュアル露出撮影）にする。

2 MENUボタンを押す。

3 コントロールボタンの▲/▼/◀/▶を押して（ピクチャーエフェクト）→ 好みのモードを選び、中央の●を押す（84ページ）。

（切）：ピクチャーエフェクトを使わない。

（絵画調HDR）：露出の異なる複数枚の画像を撮影し、油絵具で描いたような1枚の画像に合成する。効果の強さはMENU → ［絵画効果］で変更する。

（リッチトーンモノクロ）：露出の異なる複数枚の画像を撮影し、メリハリの効いた1枚のモノクロ画像に合成する。

（ミニチュア）：MENU → ［注目領域］で指定した部分以外をぼかし、ジオラマを撮影したようなコントラストの強い画像を撮影する。

（トイカメラ）：トンネル効果・高コントラスト・色かぶりなど、トイカメラで撮影したような効果をつけて撮影する。色調はMENU → ［色調］で変更する。

（ポップカラー）：色味を強調してポップでカラフルな画像を撮影する。

（パートカラー）：モノクロ画像の一部に指定する色を残すことで、印象に残る画像を撮影する。指定する色はMENU → ［抽出色］で変更する。

(SftH key)（ソフトハイキー）：明るさを強調した柔らかく透明感のある画像を撮影する。

(WtrC)（水彩画調）：にじみやぼかしを加えて水彩画のような効果をつける。効果の強さはMENU → [水彩画効果]で変更する。

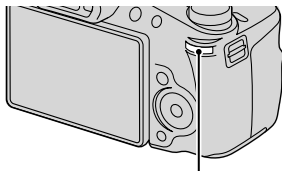
(Illus)（イラスト調）：輪郭を強調するなどしてイラストのような効果をつける。効果の強さはMENU → [イラスト効果]で変更する。

撮影した画像を水彩画、イラスト調に加工する

▶（再生）ボタン → MENU → [ピクチャーエフェクト]で、撮影した画像を水彩画、またはイラストのように加工できます。

ISO感度を選ぶ

1 **モードダイヤルを P(プログラムオート撮影)、S(シャッタースピード優先撮影)、A(絞り優先撮影)またはM(マニュアル露出撮影)にする。あるいはシーンセレクションで(アドバンストスポース撮影)を選ぶ。**

2 **ジョグダイヤルを押して、ISO感度を選ぶ。**

3 **ジョグダイヤルを回して、好みの数値を選ぶ。**

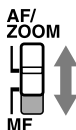
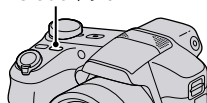
ISO AUTO **(オート)**：カメラが自動で設定する。

ISO 100～ISO 12800：暗い場所や動いている被写体を撮影する場合、ISO感度を上げる(数値を大きくする)と、ブレを軽減できる。ISO4000以上では「全画素超解像」技術および重ね合わせ連写を使って実現しています。

ご注意

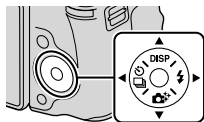
- 動画撮影時、ISO感度は自動で設定されます。選択できません。
- ISO感度をISO4000以上に設定しているときは重ね合わせ処理をするため、記録処理に時間がかかります。また、フラッシュは発光しません。

ピント合わせの方法を選ぶ

1 ズーム/フォーカススイッチをAF/ZOOMに切り換える。

2 FOCUSボタンを押して、コントロールボタンの◀/▶で好みのモードを選ぶ。

(マルチAF)：画面全体を基準に自動でピント合わせする。

(中央重点AF)：画面中央付近の被写体に自動でピント合わせする。

(フレキシブルスポットAF)：コントロールボタンの▲/▼/◀/▶を使って、好きなところに測距枠の位置を移動してピント合わせする。

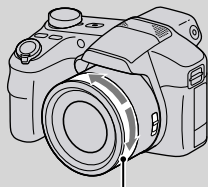
- AFモードが[フレキシブルスポットAF]のとき、追尾フォーカスは使えません。

マニュアルフォーカスを使う

ズーム/フォーカススイッチをMFにして、マニュアルリングを回して好みのピントに合わせる。

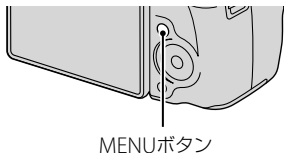
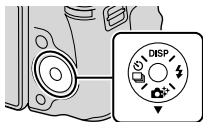
- FOCUSボタンを押すと、画面中央部が約7倍に拡大して、ピントが合わせやすくなります。

マニュアルリング

ズーム/フォーカススイッチをMFにしていても次のモードではオートフォーカスになります。

–(おまかせオート撮影)
–⁺(プレミアムおまかせオート)
–シーンセレクションの(美肌)、(背景ぼかし)、(ソフトスナップ)、(人物ブレ軽減)、(夜景＆人物)

カスタムボタンの設定機能を変える

カスタムボタンには、よく使う機能を登録しておくことができ、撮影時に即時に設定ができます。
お買い上げ時は[AEL]が設定されています。

1 MENUボタンを押す。

2 コントロールボタンの▼で (設定)を選び、中央の●を押す。

3 ▲/▼/◀/▶で (撮影設定)を選び、[カスタムボタン] → 好みのモードを選ぶ。

✓	AEL	AEのロック/ロック解除を設定する。
	色合い(ホワイトバランス)	ホワイトバランスを設定する。
	NDフィルタ	NDフィルターを設定する。
	測光モード	測光モードを設定する。
	スマイルシャッター	スマイルシャッターを設定する。

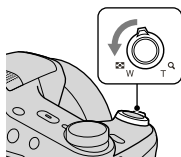
ご注意

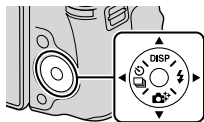
- **EASY**(かんたんモード)ではカスタムボタンを使用できません。

素早く探す（一覧表示）

1 ▶（再生）ボタンを押して画像を再生し、W/T（ズーム）レバーをW側（▦）に動かす。

- W/T（ズーム）レバーをもう一度W側に動かすと、更に細かい一覧表示画面になります。

- [ビューモード]が[日付ビュー]のときは、更に細かい一覧表示中にW側へW/T（ズーム）レバーを動かすと、カレンダー表示ができます。

2 コントロールボタンの▲/▼/◀/▶を押して画像を選ぶ。

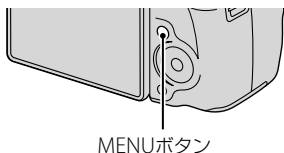
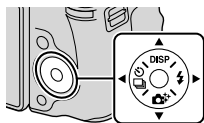
- コントロールボタン中央の●を押すと、1枚再生に戻ります。

一覧表示画面で動画のみ表示する

MENU → (ビューモード) → (フォルダビュー（MP4))または(AVCHDビュー)で、動画だけの一覧表示画面を表示することができます。

(フォルダビュー（MP4))	MP4形式の動画を表示する。
(AVCHDビュー)	AVCHD形式の動画を表示する。

- 再生した動画が終わると自動的に次の動画が始まります。

音楽といっしょに再生する(スライドショー)

1 ▶(再生)ボタンを押して画像を再生し、MENUボタンを押す。

2 コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で♫(スライドショー)→[音楽付スライドショー]を選び、中央の●を押す。

3 コントロールボタンで[実行]を選び、中央の●を押す。

- スライドショーを終了するには、中央の●を押します。

好きな曲をBGMにする

お手持ちの音楽CDやMP3ファイルからお好みの曲(BGMファイル)を本機に転送し、スライドショーとともに再生できます。BGMファイルを転送するには、ソフトウェア「Music Transfer」をパソコンにインストールして、下記手順を行います。

「Music Transfer」は、下記URLからダウンロードしてください。

Windows版：http://www.sony.co.jp/imsoft/Win/

Mac版：http://www.sony.co.jp/imsoft/Mac/

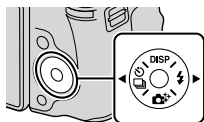
① MENU → (設定) → (本体設定) → [BGMダウンロード] → コントロールボタン中央の●

② 本機とパソコンをUSB接続する。

③「Music Transfer」を起動して操作する。

詳しくは「Music Transfer」のヘルプをご覧ください。

動画を見る

1 ▶(再生)ボタンを押して画像を再生し、コントロールボタンの◀/▶を押して再生したい動画を選ぶ。

2 中央の●を押す。

動画の再生が始まる。

- もう一度中央の●を押すと、一時停止します。再生中に◀/▶を押して早戻し、早送りができます。▼で操作パネルを表示します。

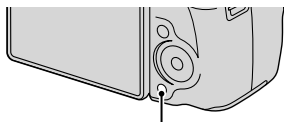
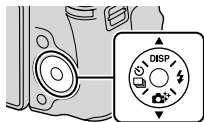
操作パネル	できること
►	再生
❚❚	一時停止
►►	早送り
◄◄	早戻し
❚►	スロー再生
◄❚	スロー逆再生
►►❚	チャプタ送り
❚◄◄	チャプタ戻し
❚❚►	コマ送り
◄❚❚	コマ戻し
🔈	音量設定
[動画から静止画作成アイコン]	動画から静止画作成
×	操作パネルを閉じる

ご注意

- 操作パネルに表示されるボタンは、再生状態によって変わります。

再生に便利な機能を使う

削除する

1 ▶(再生)ボタンを押して画像を再生し、?/🗑(削除)ボタンを押す。

2 コントロールボタンの▲/▼で好みのモードを選ぶ。

この画像以外全て：連写グループ表示時、グループ内の選択している画像以外を削除する。

この連写画像全て：選択している連写グループ内すべての画像をまとめて削除する。

この画像：1枚表示のとき見ている画像を削除する。

画像選択：画像を何枚か選んで削除する。画像を選んで中央の●を押し、MENUを押して実行する。

この日の画像全て/フォルダ内全て/AVCHDビュー動画全て：選択している日付・フォルダ内すべての静止画と動画、またはAVCHD動画だけをまとめて削除する。

キャンセル：削除を中止する。

- [カメラ内ガイド]に関しては、32ページをご覧ください。

すべての画像を削除する(フォーマット)

メモリーカードが本機に入っている場合はメモリーカードのデータを、入っていない場合は内蔵メモリーのデータをすべて削除します。フォーマットするとプロテクトしてある画像も含めて、すべてのデータが消去され、元に戻せません。

① MENUボタンを押す。

② コントロールボタンの▼で(設定)を選び、中央の●を押す。

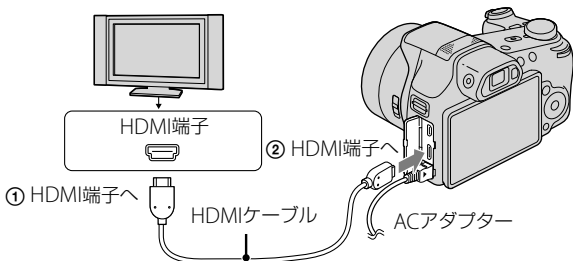
③ ▲/▼/◀/▶で(メモリーカードツール)または(内蔵メモリーツール)を選び、[フォーマット] → 中央の●を押す。

④ [OK]を選び、中央の●を押す。

テレビで見る

テレビで見るには、別売の接続ケーブルが必要です。
HDMIケーブル（別売）で接続すると、本機で撮影した画像を高画質でお楽しみいただけます。

- ACアダプター（付属）を接続すると、バッテリーの消費を気にすることなく、テレビで画像を鑑賞できます。

1 本機とテレビをHDMIケーブル（別売）で接続する。

ご注意

- 本機側はHDMIミニ端子、テレビ側はテレビの端子に合ったタイプのHDMIケーブルをお使いください。
- HDMI端子のないテレビではご覧になれません。
- HDMIケーブルを本機に差し込む際は、HDMIカバーを充分に開いてください。

3D対応テレビで3D画像を見るときは

HDMIケーブル（別売）で3D対応テレビと接続すると、本機で撮影した3D画像をお楽しみいただけます。

MENU → 3D（3D鑑賞）→ コントロールボタン中央の●で決定。

- 詳しくはテレビの取扱説明書をご覧ください。

つないで楽しむ

海外で見るときは

本機で撮影した動画をテレビで見るには、本機と同じカラーテレビ方式（NTSC）が必要です。使用する国、または地域のカラーテレビ方式をご確認ください。

NTSC方式
　アメリカ、カナダ、韓国、台湾、メキシコなど

プリントする

静止画をプリントするには、下記の方法があります。

- ダイレクトプリント（メモリーカード対応プリンター使用）
  詳しくは、プリンターの取扱説明書をご覧ください。
- パソコンを使ってプリント
  ソフトウェア「PlayMemories Home」を使って画像をパソコンに取り込んでから、プリントします。日付を入れてプリントできます。
  詳しくは、「PlayMemories Home ヘルプガイド」をご覧ください。
- お店でプリント

パノラマ画像をプリントする

パノラマ撮影した画像のプリント画像は印刷方法やプリンターによって異なります。

- パノラマ画像を縁無しで印刷すると、中央部のみ印刷されます。
- パノラマ画像を縁ありで印刷すると、画像を縮小して全体が印刷されます。
- パノラマ画像サイズを［高解像］にして撮影したパノラマ画像が大きすぎて印刷できない場合は、ソフトウェア「PlayMemories Home」のリサイズ機能をご利用ください。［高解像］で撮影したパノラマ画像を50%にリサイズするなどできます。詳しくは「PlayMemories Home ヘルプガイド」をご覧ください。
- プリンターによってはパノラマ画像を印刷できない場合があります。詳しくはプリンターメーカーにお問い合わせください。

お店でプリントするには

内蔵メモリー内の画像は、直接カメラからプリントすることはできません。メモリーカードにコピーしてプリントサービス店にお持ちください。

コピー方法：MENU → （設定）→ （メモリーカードツール）→［コピー］→［OK］

その他詳しくは、プリントサービス店にご相談ください。

パソコンで見る

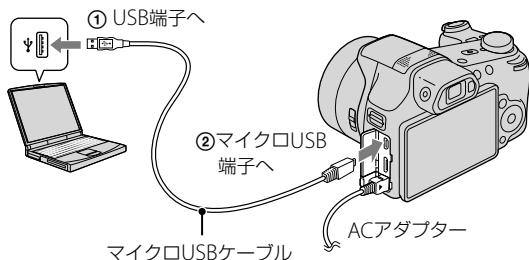
サイバーショットで撮影した画像をパソコンでご活用いただくために、ソフトウェア「PlayMemories Home」をお使いください。詳しくは「PlayMemories Home ヘルプガイド」、またはPlayMemories Home サポートページ（http://www.sony.co.jp/pmh-sj/）をご覧ください。

「PlayMemories Home ヘルプガイド」を見る

1 **デスクトップ上の[PlayMemories Home ヘルプガイド]アイコンをダブルクリックする。**

- スタートメニューから起動するときは、[スタート] → [すべてのプログラム] → [PlayMemories Home] → [PlayMemories Home ヘルプガイド]の順にクリックします。

「PlayMemories Home」で画像をパソコンに取り込む

1 本機とパソコンをマイクロUSBケーブル(付属)で接続する。

- 通信中は本機のモニターに が表示されます。その間はパソコンの操作をしないでください。 USB が表示されたら操作できます。
- 残量の少ないバッテリーを使用すると、データを転送できなかったり、データが壊れたりすることがあります。ACアダプターを接続してのご使用をおすすめします。

2 [取り込み開始]をクリックする。

- その他詳しくは、「PlayMemories Home ヘルプガイド」をご覧ください。

ご注意

- AVCHD動画を取り込むなどの操作は「PlayMemories Home」を使用してください。
- カメラの動作中やアクセス中の画面が表示されている場合、カメラ本体からマイクロUSBケーブルをはずしたりしないでください。データが壊れることがあります。
- パソコンとの接続を切断するには、タスクトレイの切断アイコン（ ）をクリックし、「USB大容量記憶装置を安全に取り外します」をクリックしてください。
- Windows XPでパソコンにインストールされているWindows Media PlayerがVer.10の場合は、カメラをパソコンに接続しても認識されない場合があります。このような場合はケーブルを抜いて、MENU → （設定）→［本体設定］→［USB接続設定］→［Mass Storage］にしてから、接続しなおしてください。

「Mac」で見る

Macに画像を取り込めます。ただし「PlayMemories Home」は対応していません。Macで再生する場合は、Macに搭載されているアプリケーションをご利用ください。詳しくは、以下のURLをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/imsoft/Mac/

パソコンの推奨環境

OS（工場出荷時にインストールされていること）	USB接続: Mac OS X v10.3 ～ v10.7

つないで楽しむ

動画のディスクを作成する

本機で記録したAVCHD動画からディスクを作成することができます。お使いの再生機器に合わせて、作り方を選んでください。作成方法は、「PlayMemories Home」を使ってパソコンで作成する方法と、DVDライターなどのパソコン以外の機器を使って作成する方法を紹介します。

ディスクの種類/目的	録画できる動画画質				再生機器
	PS	FX	FH	HQ	
Blu-ray ハイビジョン画質(HD)で残したい	○	○	○	○	ブルーレイディスク再生機器(ソニー製ブルーレイディスクプレーヤー、プレイステーション 3など)
DVD ハイビジョン画質(HD)(AVCHD記録ディスク)で残したい	—	—	○	○	AVCHD規格対応再生機器(ソニー製ブルーレイディスクプレーヤー、プレイステーション 3など)
DVD 標準画質(STD)で記録して残したい	—	—	—	—	一般的なDVD再生機器(DVDプレーヤー、DVD再生可能なパソコンなど)

パソコンでディスクを作成する

「PlayMemories Home」を使ってAVCHD動画をパソコンに取り込み、ブルーレイディスク、AVCHD記録ディスク、または標準画質(STD)のディスクを作成することができます。

「PlayMemories Home」を使ったディスクの作り方についての詳細は「PlayMemories Home ヘルプガイド」をご覧ください。

ご注意

- ブルーレイディスクを「PlayMemories Home」で作成するには専用のアドオンソフトウェアをインストールする必要があります。詳しくは、以下のURLをご覧ください。
  http://support.d-imaging.sony.co.jp/BDUJ/
- [AVC HD 28M (PS)]で撮影した動画から作成したブルーレイディスクを再生するには、AVCHD規格Ver.2.0に対応した機器が必要です。

パソコン以外の機器でディスクを作成する

ブルーレイレコーダーやDVDライターでもディスクを作成することができます。

機器によって作成できるディスクの種類が異なります。

使用する機器	作成できるディスクの種類
ブルーレイレコーダーを使ってブルーレイディスクや標準画質(STD)のディスクを作成する。	Blu-ray ハイビジョン画質(HD) / DVD 標準画質(STD)
DVDirect Express以外のDVDライターを使ってAVCHDディスクまたは、標準画質(STD)のディスクを作成する。	DVD ハイビジョン画質(HD)(AVCHD記録ディスク) / DVD 標準画質(STD)
HDDレコーダーなどを使って標準画質(STD)のディスクを作成する。	DVD 標準画質(STD)

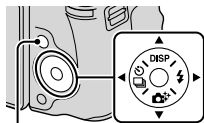
ご注意

- ［AVC HD 28M (PS)］で撮影した動画を保存するには、AVCHD規格Ver.2.0に対応した機器が必要です。また、作成したブルーレイディスクは、AVCHD規格Ver.2.0に対応した機器でのみ再生できます。
- 作成方法の詳細は、お使いの機器の取扱説明書をご覧ください。
- ソニー製DVDirect（DVDライター）をお使いの場合、データの転送にはメモリーカードスロットとUSB接続が使えます。
- ソニー製DVDirect（DVDライター）を使うときは、DVDライターのファームウェアが最新版であることをご確認ください。
  詳しくは下記のURLをご覧ください。
  http://www.sony.jp/dvdirect/

TransferJetで画像を送信する

TransferJetとは、通信したい製品同士を合わせることで、データ送信ができる近接無線転送技術です。お使いのカメラにTransferJet機能が搭載されているかどうかは、本体底面の（TransferJet）マークを確認してください。TransferJet搭載"メモリースティック"（別売）を使用すると、TransferJet対応機器との間で画像を転送できます。
TransferJetについて詳しくは、TransferJet搭載"メモリースティック"の取扱説明書もご覧ください。

1 **TransferJet搭載"メモリースティック"を本機にいれ、▶（再生）ボタンを押して画像を再生する。**

2 **MENUボタン → コントロールボタンの▲/▼/◀/▶で（TransferJet送信）を選び、好みのモード → 中央の●を押す。**

MENUボタン

（この画像）：見ている画像を送信する。

（画像選択）：何枚かを選んで送信する。画像を選んで、中央の●を押し、MENUを押して実行する。

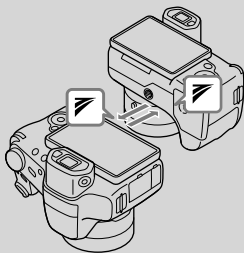
受信するだけのときは、この操作は不要です。

3 本機と相手機器の(TransferJet)マークを合わせて画像を送信する。

ご注意

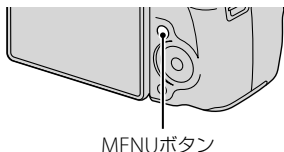
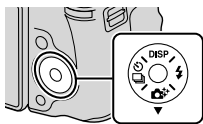
- 送信できる画像は静止画のみです。
- あらかじめ、(設定)で[TransferJet]を[入]にしてください。
- 飛行機の中では、(設定)の[飛行機モード]を[入]にしてください。その他、ご利用になる場所の規制に従ってお使いください。

データをうまく送受信するポイント

本機と相手側の(TransferJet)マークを合わせてください。

- (TransferJet)マークを合わせる角度によっては、通信の速度や範囲が変わります。
- 通信状態が悪い場合、本機の位置や角度を少し動かして、通信しやすい位置を見つけてください。
- 図のようにカメラ同士を平行にして(TransferJet)マークを合わせると送受信しやすくなります。

GPSを使う

本機に内蔵されているGPSおよび方位センサーが位置や撮影方向の情報を取得し、画像に記録します。また、カメラを持って移動した経路を記録します。ソフトウェア「PlayMemories Home」を使うと、位置や撮影方向を記録した写真や動画、カメラを持って移動した経路をパソコンに取り込んで地図と一緒に楽しむことができます。詳しくは「PlayMemories Home ヘルプガイド」をご覧ください。

1 MENUボタンを押す。

2 コントロールボタンの▼で（設定）を選び、中央の●を押す。

3 ▲/▼/◀/▶で（本体設定）を選び、[GPS方位] → 好みのモード → 中央の●を押す。

入：GPS方位センサーを起動する。

切：GPS方位センサーを使わない。

ご注意

- 位置や方位情報を記録しない場合は[GPS方位]を[切]にしてください。
- 飛行機の離着陸時には、[飛行機モード]を[入]にしてください。
- GPS機能は、ご利用になる国や地域の規制に従ってお使いください。
- 位置情報が記録されているかどうかは、撮影後に再生画面にして緯度・経度を表示させて確認してください（55ページ）。

GPSの電波を受信するには

- 屋内や高い建物の近くではうまく測位できません。屋外の空の開けた場所に移動して、本機の電源を入れ直してください。
- 数分待ってもアイコンが測位中にならないときは、受信困難な状態です。そのまま撮影を始めるか、屋外の空の開けた場所に移動してください。そのまま撮影すると、位置情報は記録されません。

測位情報を確認する

GPS起動時、GPS衛星からの電波の受信状況によってモニターに表示されるアイコンが変わります。

アイコン	測位状況	GPS受信状況
非表示	機能切	[GPS方位]が[切]になっている、またはエラーが起きている。
NO GPS SIGNAL	測位困難	GPS信号を受信できないため、位置情報が取得できない。屋外の空の開けた場所に移動してください。
	衛星探索中	衛星を探索中。測位中になるまで数分かかることがあります。
	測位中	GPS信号を受信中。位置情報を取得できる。

ご注意

- 衛星探索中、測位中はGPS受信部(11ページ)に指を置かないようにしてください。受信感度が低くなり、測位できないことがあります。

さらに詳しい測位情報を見るには

MENU → [測位情報] → コントロールボタン中央の●でGPS衛星の位置などを確認することができます。

測位ゲージ

GPS衛星からの測位情報の取得状況が測位ゲージに表示されます。測位すると測位ゲージが緑色になります。

位置情報の取得時間を短くする

[GPSアシストデータ]を最新のデータに更新すると、位置情報を取得するまでの時間を短くすることができます。[GPSアシストデータ]の更新には、インターネットに接続されたパソコンとソフトウェア「PlayMemories Home」が必要です。

1 「PlayMemories Home」をパソコンにインストールする（24ページ）。

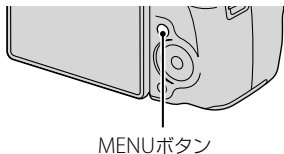
2 本機とパソコンを接続する（25ページ）。

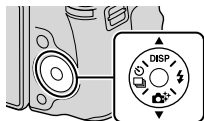
ご注意

- [日時設定]をしていない、または設定時刻が大きくずれている場合、位置情報を取得するまでの時間を短くすることができません。
- MENU → (設定) → (時計設定) → [日時設定]で正しく日時を設定してください。
- GPSアシストデータの有効期限が切れている場合、位置情報を取得するまでの時間を短くすることができません。定期的に更新することをおすすめします。GPSアシストデータの有効期限は約30日以内です。
  MENU → (設定) → (本体設定) → [GPSアシストデータ]で有効期限を確認できます。
- 諸般の事情によりGPSアシストデータの提供サービスを終了させていただく場合があります。

経路を記録する

本機を持って移動した経路の記録開始・終了を設定することができます。本機の電源が入っていないときでも、経路を記録し続けます。
詳しくは「PlayMemories Home ヘルプガイド」をご覧ください（69ページ）。

1 MENUボタンを押す。

MENUボタン

2 コントロールボタンの▲/▼で（GPSログ記録）→［OK］を選び、中央の●を押す。

3 終了するには、もう一度MENUボタンを押し、コントロールボタンの▼で（GPSログ記録）を選び、中央の●を押す。

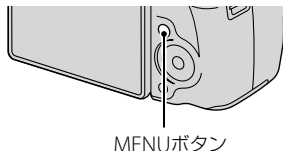
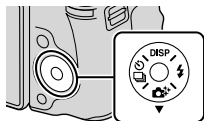
- 終了するとメモリーカードにGPSログデータが記録されます。

ご注意

- メモリーカードが挿入されていないとき、または容量がないときは、［GPSログ記録］を保存できません。
- 経路を一度に記録できる時間は、24時間までです。24時間を越えると、記録が自動的に停止します。
- GPSログがいっぱいになったときは、MENU →（設定）→（本体設定）→［GPSログデータ削除］→［OK］でデータを削除してください。
- 位置情報および経路情報をソニーが収集することはありません。
- 位置情報および経路情報をパソコンで地図に表示するために、Google社へ位置情報・経路情報を提供しています。

操作音を変える

操作音の設定を変更したり、音を消したりします。

1 **MENUボタンを押す。**

2 **コントロールボタンの▼で（設定）を選び、中央の●を押す。**

3 **▲/▼/◀/▶で（本体設定）を選び、[操作音] → 好みのモード → 中央の●を押す。**

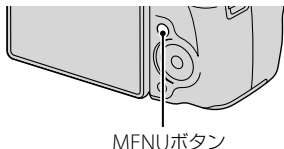
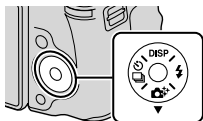
シャッター：シャッターボタンを押したときのみ、シャッター音が鳴る。

入：コントロールボタン/シャッターボタンを押したときなどに、操作音/シャッター音が鳴る。

切：操作音/シャッター音は鳴らない。

画像に撮影日付を入れる

撮影した日付を画像に挿入するように設定できます。

1 MENUボタンを押す。

2 コントロールボタンの▼で(設定)を選び、中央の●を押す。

3 ▲/▼/◀/▶で(撮影設定)を選び、[日付書き込み] → 好みのモード → 中央の●を押す。

切：日付を挿入しない。

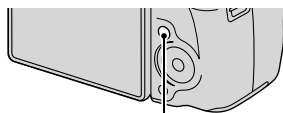
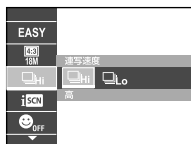
入：日付を挿入する。

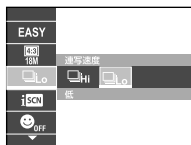
ご注意

- 画像に入れた日付表示は消せません。
- 印刷時に日付を入れる設定にすると、二重で日付が印刷されます。

MENUにある機能を使う

撮影中・再生中に見えている画面に対して使える機能を表示して、手軽に設定できます。
本機のモニターには、それぞれのモードで設定できる項目のみが表示されます。
お買い上げ時の状態に戻すには、MENU → (設定) → (本体設定) → [設定リセット] → [全ての設定] → [OK]で戻せます。

1 MENUボタンを押して、メニュー画面を表示する。

2 コントロールボタンの▲/▼で項目を選ぶ。

3 コントロールボタンの◀/▶を押して項目を選ぶ。

- 再生時は、中央の●を押して決定します。

4 MENUボタンを押して、メニュー画面を消す。

撮影時のMENU

項目	説明
動画撮影シーン	動画の撮影モードの設定を変更する。 （iAUTO おまかせオート撮影/ SCN シーンセレクション）
3D撮影	3D撮影のモード設定を変更する。 （3D静止画/3Dスイングパノラマ/ スイングマルチアングル）
ピクチャーエフェクト	好みの効果を選んで、独自の風合いで撮影する。 （OFF 切/Pntg 絵画調HDR/ Rich BW リッチトーンモノクロ/Mini ミニチュア/ Toy トイカメラ/Pop ポップカラー / Part パートカラー /SftH key ソフトハイキー / WtrC 水彩画調/Ilus イラスト調）
シーンセレクション	撮影状況に合わせて、あらかじめ用意された設定で撮影する。 （美肌/背景ぼかし/ソフトスナップ/ 人物ブレ軽減/風景/逆光補正HDR/ 夜景＆人物/夜景/手持ち夜景/ ISO 高感度/料理/ペット/ビーチ/ スノー /打ち上げ花火/ アドバンストスポーツ撮影）
登録設定の呼び出し	モードダイヤルがMR（登録設定の呼び出し）のとき、呼び出したい設定を選択する。 （1/2/3）
かんたんモード	必要最低限の機能を使って静止画を撮影する。
ぼかし効果	背景ぼかし撮影時、背景のぼかし効果を設定する。 （Lo 低/Mid 中/Hi 高）
静止画サイズ（デュアル記録）	動画記録中に撮影する画像サイズを設定する。 （16:9 13M 16:9(13M相当)/16:9 3M 16:9(3M)/ 4:3 10M 10M相当/4:3 2M 2M）

項目	説明
静止画サイズ/ パノラマ画像サイズ/ 動画画質/動画サイズ	画像サイズまたは画質を設定する。 (4:3 18M/4:3 10M/4:3 5M/4:3 2M/4:3 VGA/16:9 13M/16:9 2M) (16:9 2M 16:9/STD 標準/WIDE ワイド/HR 高解像) (PS AVC HD 28M (PS)/FX AVC HD 24M (FX)/ FH AVC HD 17M (FH)/HQ AVC HD 9M (HQ) (1080 MP4 12M/720 MP4 6M/VGA MP4 3M)
絵画効果	[絵画調HDR]撮影時、効果の強さを設定する。 (Pntg Lo 低/Pntg Mid 中/Pntg Hi 高)
注目領域	[ミニチュア]撮影時、はっきり見せたい場所を設定する。 (上/中(横)/下/左/中(縦)/右)
色調	[トイカメラ]撮影時、色調を調整する。 (Toy Norm ノーマル/Toy Cool クール/Toy Warm ウォーム/ Toy G グリーン/Toy M マゼンタ)
抽出色	[パートカラー]撮影時、抽出したい色を設定する。 (Part R レッド/Part G グリーン/Part B ブルー / Part Y イエロー)
水彩画効果	[水彩画調]撮影時、効果の強さを設定する。 (WtrC Lo 低/WtrC Mid 中/WtrC Hi 高)
イラスト効果	[イラスト調]撮影時、効果の強さを設定する。 (Ilus Lo 低/Ilus Mid 中/Ilus Hi 高)
色合い(ホワイトバランス)	撮影場所の光の状況に合わせて画像の色合いを調整する。 (WB AUTO オート/太陽光/曇天/蛍光灯1/ 蛍光灯2/蛍光灯3/電球/ WB フラッシュ / ワンプッシュ / SET ワンプッシュ取込)
ホワイトバランスシフト	選択されているホワイトバランスを基準に、セットされた補正値に合わせて色を調整する。 (WB± OFF 切/WB± ON 入/WB± SET シフト量調節)
NDフィルタ	内蔵NDフィルターのON/OFFを切り換える。 (ND AUTO オート/ND ON 切/ND OFF 入)

項目	説明
測光モード	モニターのどの部分で光を測るか(測光)を設定する。 (マルチ/ 中央重点/ スポット)
連写速度	連写スピードを設定する。 (Hi 高/Lo 低)
ブラケット設定	ブラケット撮影の設定をする。 (±0.3EV EXP±0.3/±0.7EV EXP±0.7/±1.0EV EXP±1.0/ BRK WB 色合い(ホワイトバランス))
おまかせシーン認識	カメラがシーンを判断して撮影する。 (iSCN オート/iSCN+ アドバンス)
美肌効果	顔検出時、被写体の美肌効果を設定する。 (OFF 切/Lo 低/Mid 中/Hi 高)
スマイルシャッター	笑顔を検出すると自動で撮影する。 (ON 入/OFF 切)
スマイル検出感度	笑顔を検出する感度を設定する。 (大笑い/ 普通の笑顔/ ほほ笑み)
顔検出	人物の顔を検出し、ピントを合わせる優先対象を設定する。 (OFF 切/AUTO オート/ こども優先/ おとな優先)
フラッシュレベル	フラッシュの発光量を調節する。 (–2.0EV ～ +2.0EV)
カラーモード	画像の鮮やかさを変えたり、特別効果を加えて撮影する。 (標準/V ビビッド/R リアル/S セピア/ BW モノトーン)
彩度	画像の鮮やかさを変更する。 (–/STD 標準/ +)
コントラスト	画像の明暗の比を変更する。 (–/STD 標準/ +)
シャープネス	画像の尖鋭度を変更する。 (–/STD 標準/ +)
ノイズリダクション	撮影する画像の残像感とノイズのバランスを調整する。 (NR– –/NRSTD 標準/NR+ +)

項目	説明
目つぶり軽減	目つぶり軽減機能を設定する。 （オート/切）
動画手ブレ補正	動画撮影時、手ブレを補正する。 （スタンダード/アクティブ） • ［動画手ブレ補正］の設定を変更すると、画角が変わります。
測位情報	GPS測位状況を確認する。また位置情報を更新する。
GPSログ記録	本機を持って移動した経路を記録する。
設定を登録	好みのモード、カメラの設定を登録する。 （1/2/3）
カメラ内ガイド	カメラの機能や使いかたを検索する。
（設定）	本機の設定を変更する。

再生時のMENU

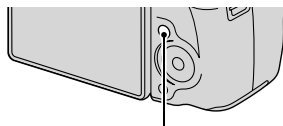
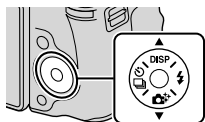
項目	説明
(スライドショー)	画像を連続再生する。 (連続再生/ 音楽付スライドショー)
(TransferJet送信)	TransferJet搭載"メモリースティック"の画像を対応メディアに送信する。 (この画像/ 画像選択)
(削除)	画像を削除する。 (この画像以外全て/ この連写画像全て/ この画像/ 画像選択/ この日の画像全て*)
(加工)	画像を加工して別ファイルで保存する。 (トリミング(リサイズ)/ 赤目補正/ ピントくっきり補正)
(ピクチャーエフェクト)	画像に効果をつけ、別ファイルで保存する。 (WtrC 水彩画調/Illus イラスト調)
(3D鑑賞)	3D撮影した画像を3D対応テレビで見る。
(ビューモード)	ビューモードの切り換えを行う。 (日付ビュー / フォルダビュー(静止画)/ MP4 フォルダビュー(MP4)/ AVCHD AVCHDビュー)
(連写グループ表示)	連写画像の表示のしかたを選択する。 (グループ代表画像のみ表示/ 全て表示)
(プロテクト)	画像を誤って消さないように保護(プロテクト)する。 (この画像/ 画像選択/ ON この連写画像全て設定/ OFF この連写画像全て解除)
DPOF (プリント(DPOF))	メモリーカードの画像にプリント予約マークを付ける。 (DPOF この画像/DPOF 画像選択)
(回転)	静止画を左に回転する。
?(カメラ内ガイド)	カメラの機能や使いかたを検索する。
(設定)	撮影機能以外の、本機の設定を変更する。

* 各ビューモードによって、表示される項目が異なります。

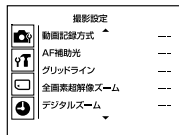
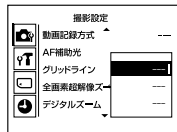
(設定)にある機能を使う

本機のお買い上げ時の設定を変更できます。

(撮影設定)は、撮影モードから設定に入ったときのみ表示されます。

1 MENUボタンを押して、メニュー画面を表示する。

2 コントロールボタンの▲/▼で(設定)を選び、中央の●を押して決定する。

3 コントロールボタンの▲/▼を押して項目を選び、中央の●を押して決定する。

撮影設定

動画記録方式	---
AF補助光	---
グリッドライン	---
全画素超解像ズーム	---
デジタルズーム	---

4 コントロールボタンの▲/▼を押して項目を選び、中央の●を押す。

5 MENUボタンを押して、設定画面を消す。

カテゴリー	項目	説明
撮影設定	動画記録方式	動画を記録するときの記録方式を設定する。
	AF補助光	暗所でピントを合わせるための補助光を発光する。
	グリッドライン	構図を合わせるための線を表示する。
	全画素超解像ズーム	静止画撮影時、ほとんど劣化せずにズームする。
	デジタルズーム	全画素超解像ズーム以上のズームができる。動画撮影時でもズームできる。
	風音低減	動画撮影時、風音を低減する。
	マイク基準レベル	動画撮影時の録音レベルを切り換えて周辺の状況に適した音量で録音する。
	赤目軽減	フラッシュ撮影時、目が赤くなるのを軽減する。
	目つぶり通知	目を閉じている画像を記録すると、メッセージを表示する。
	日付書き込み	撮影した日の日付を画像に記録するかどうかを設定する。
	カスタムボタン	よく使う機能を選んで、カスタムボタンに設定する。
	表示画質モード	モニターに表示される画像の画質を調整する。
本体設定	操作音	本機の操作時に鳴る音を設定する。
	パネル明るさ	モニターの明るさを設定する。
	言語設定	本機は日本語のみに対応しています。その他の言語には変更できません。
	画面カラー	モニターの背景色を設定する。
	デモモード	スマイルシャッターやAVCHD動画再生のデモンストレーションをする。
	設定リセット	撮影設定、またはすべての設定をお買い上げ時の設定に戻す。
	機能ガイド	本機を操作したときに、機能の説明を表示するかどうかを設定する。

カテゴリー	項目	説明
本体設定	HDMI解像度	HDMIからテレビに出力する解像度を選ぶ。
	HDMI機器制御	ブラビアリンク対応のテレビと接続した場合、テレビのリモコンで操作するかどうか設定する。
	エコモード	オートパワーオフまでの時間を設定する。
	USB接続設定	接続するパソコンやUSB機器に合わせて設定する。
	LUN設定	USB接続したときに、パソコンなどに表示される記録メディアを設定する。
	BGMダウンロード	スライドショー用の音楽を変更する。
	BGMデータ消去	スライドショー用の音楽をすべて消去する。
	飛行機モード	飛行機などに搭乗するとき、一時的にGPS、TransferJet機能を使用する設定をすべて無効にする。
	GPS方位	GPS方位センサーを起動する。
	GPSアシストデータ	GPSアシストデータの状態を確認できる。
	GPSログデータ削除	[GPSログ記録]で記録したデータをすべて削除する。
	TransferJet	TransferJet搭載"メモリースティック"の通信設定をする。
	Eye-Fi*	市販のEye-Fiカードを使うときのアップロード通信設定をする。
	バージョン表示	本機のソフトウェアのバージョンを表示する。

カテゴリー	項目	説明
メモリーカードツール	フォーマット	メモリーカードをフォーマット(初期化)する。
	記録フォルダ作成	メモリーカードの中に新しいフォルダを作成する。
	記録フォルダ変更	画像を記録するフォルダを変更する。
	記録フォルダ削除	メモリーカードの中のフォルダを削除する。
	コピー	内蔵メモリーに記録した画像を、メモリーカードに一括コピーする。
	ファイル番号	ファイル番号の付けかたを設定する。
内蔵メモリーツール	フォーマット	内蔵メモリーをフォーマット(初期化)する。
時計設定	エリア設定	本機を使用する場所に適した時刻に設定する。
	日時設定	時計、日付の設定をする。
	自動時刻補正	GPSを利用して正確な時刻を維持する。
	自動エリア補正	GPSを利用して時差ずれを検出し、エリアを補正する。

* 対象のメモリーカードをカメラに挿入しているときのみ表示されます。

使用できるメモリーカード

以下の一覧を参考にして、使用するメモリーカードを選んでください。静止画撮影、または動画撮影で使用できるメモリーカードを○で表しています。

対応メモリーカード	静止画	動画	本書での表現
メモリースティック PRO デュオ	○	○(Mark2のみ)	メモリースティック デュオ
メモリースティック PRO-HG デュオ	○	○	
メモリースティック デュオ	○	×	
メモリースティック マイクロ(M2)	○	×	メモリースティック マイクロ
メモリースティック マイクロ(Mark2)	○	○	
SDメモリーカード	○	○(Class 4以上)	SDカード
SDHCメモリーカード	○	○(Class 4以上)	
SDXCメモリーカード	○	○(Class 4以上)	
microSDメモリーカード	○	○(Class 4以上)	microSDメモリーカード
microSDHCメモリーカード	○	○(Class 4以上)	

• マルチメディアカードは使用できません。

記録できる枚数/時間については、94 ～ 95ページをご覧ください。容量ごとの一覧を参考に、メモリーカードの容量を選んでください。

ご注意

• SDカードを動画撮影に使用するときは、SDカードのclassも確認してください。
• SDXCメモリーカードに記録した映像は、exFATに対応していないパソコンやAV機器などに、本機とマイクロUSBケーブルで接続して取り込んだり再生することはできません。接続する機器がexFATに対応しているかを事前にご確認ください。対応していない機器に接続した場合、フォーマット(初期化)を促す表示がされる場合がありますが、決して実行しないでください。内容が全て失われます。(exFATは、SDXCメモリーカードで使用されているファイルシステムです。)
• すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。ソニー製以外のメモリーカードについては、各メーカーにお問い合わせください。
• "メモリースティック マイクロ"、microSDメモリーカードを本機でお使いの場合は、必ず専用のアダプターに入れてお使いください。

静止画の記録可能枚数と動画の記録可能時間

記録枚数/時間は、撮影状況および使用するメモリーカードによって異なる場合があります。

静止画

（単位：枚）

サイズ ＼ 容量	内蔵メモリー	本機でフォーマットしたメモリーカード				
	約105MB	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB
18M	17	295	590	1200	2400	4800
10M	22	390	780	1550	3150	6300
5M	38	670	1300	2700	5400	10500
VGA	370	6400	12500	25500	40000	40000
16:9(13M)	19	330	660	1300	2650	5300
16:9(2M)	68	1150	2350	4750	9500	19000

ご注意

- 静止画の記録可能枚数が9999枚より多いときは、「>9999」と表示されます。
- 他機で撮影した画像を再生すると、実際の画像サイズと異なって表示される場合があります。

動画

動画ファイルを合計したときの最大記録可能時間の目安です。

容量 画質/サイズ	本機でフォーマットしたメモリーカード				
	2GB	4GB	8GB	16GB	32GB
AVC HD 28M (PS)	9分 (9分)	15分 (15分)	35分 (35分)	1時間15分 (1時間15分)	2時間30分 (2時間30分)
AVC HD 24M (FX)	10分 (10分)	20分 (20分)	40分 (40分)	1時間30分 (1時間30分)	3時間 (3時間)
AVC HD 17M (FH)	10分 (10分)	30分 (30分)	1時間 (1時間)	2時間 (2時間)	4時間5分 (4時間5分)
AVC HD 9M (HQ)	25分 (15分)	50分 (30分)	1時間45分 (1時間5分)	3時間35分 (2時間15分)	7時間20分 (4時間30分)
MP4 12M	15分	40分	1時間20分	2時間45分	5時間30分
MP4 6M	35分	1時間15分	2時間40分	5時間20分	10時間50分
MP4 3M	1時間10分	2時間25分	4時間55分	9時間55分	20時間

(　)内は最低記録時間です。

- 連続撮影可能時間は1回の撮影で約29分です。また、MP4時は1つの動画ファイルの最大サイズは約2GBまでです。

ご注意

- 内蔵メモリーには動画は記録できません。
- 撮影シーンに合わせて動画の画質を自動調節するVBR(Variable Bit Rate)方式を採用しているため記録時間が変動します。
  動きの速い映像を記録する場合、メモリーの容量を多めに使用してより鮮明な画像を記録しますが、その分記録時間は短くなります。
  また、撮影環境や被写体の状態、画質/画像サイズの設定によっても記録時間は変動します。

モニターに表示されるアイコン一覧

モニターには、カメラの状態を表すアイコンが出ます。コントロールボタンのDISP（画面表示設定）で、モニターの表示が切り替わります（55ページ）。

撮影時のアイコン一覧

1

表示	意味
60分	バッテリー残量
	バッテリー残量なし
4:3 18M 4:3 10M 4:3 5M 4:3 2M 4:3 VGA 16:9 13M 16:9 3M 16:9 2M STD WIDE HR PS AVCHD FX AVCHD FH AVCHD HQ AVCHD 1080 MP4 720 MP4 VGA MP4	画像サイズ/パノラマ画像サイズ/画質
9	撮影可能枚数（デュアル記録）
	エコモード
1 2 3	登録設定の呼び出し

表示	意味
ISO	シーンセレクション
PSAM 3D 3D 3D	撮影モード
	シーン認識マーク
1 2 3 WB	色合い（ホワイトバランス）
WB±	ホワイトバランスシフト

表示	意味
Pntg Lo Pntg Mid Pntg Hi Rich BW Mini Toy Norm Toy Cool Toy Warm Toy G Toy M Pop Part R Part G Part B Part Y SftH key WtrC Lo WtrC Mid WtrC Hi Illus Lo Illus Mid Illus Hi	ピクチャーエフェクト
	手ブレ警告
	測光モード
	目つぶり検出
iSCN+	おまかせシーン認識
	重ね合わせ設定表示
Hi Lo	連写速度
BRK	ブラケット撮影
±0.3EV ±0.7EV ±1.0EV BRK WB	ブラケット設定
V+ R+ S+ BW+	カラーモード
	彩度
	コントラスト
	シャープネス
ND AUTO ND ON	NDフィルタ（内蔵NDフィルタ）
NR– NR+	ノイズリダクション
	スマイル検出感度インジケーター
W T ×1.4 cQ DQ	ズーム倍率

2

表示	意味
	追尾フォーカス
●	AE/AFロック
ISO400	ISO感度
NR	NRスローシャッター
125	シャッタースピード
F3.5	絞り値
ND	NDフィルタ
	風音低減
+2.0EV	明るさ（EV補正）
✱	AEロック
	AF測距枠表示
	マニュアルフォーカス
	フォーカスバー

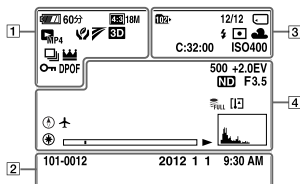
3

表示	意味
102	記録フォルダ
96	記録可能枚数
	データ書き込み中
キャプチャー	静止画取り込み中
100分	記録可能時間
	記録メディア（メモリーカード、内蔵メモリー）
OFF	Eye-Fi表示
	静止画撮影に関する警告
	GPSログ記録
	方位
	GPS測位状況
SL SL REAR	フラッシュモード
+ −	フラッシュレベル
C:32:00	自己診断表示
ON	AF補助光
	赤目軽減
Hi Lo	ぼかし効果
	フラッシュ充電中

4

表示	意味
AUTO LCD EVF	EVF/LCD切り替え
10 2 BRK	セルフタイマー
	飛行機モード
OFF	顔検出
Hi Mid Lo	美肌効果
	マイク基準レベル
FULL ERROR	管理ファイルフル警告/管理ファイルエラー警告
	温度上昇警告
DATE	日付書き込み
	AF測距枠
+	スポット測光照準
	ヒストグラム
録画 スタンバイ	動画撮影/スタンバイ
0:12	記録時間（分：秒）
	水準器

再生時のアイコン一覧

1

表示	意味
60分	バッテリー残量
	バッテリー残量なし
4:3 18M 4:3 10M 4:3 5M 4:3 2M 4:3 VGA 16:9 13M 16:9 3M 16:9 2M STD WIDE HR PS AVCHD FX AVCHD FH AVCHD HQ AVCHD 1080 MP4 720 MP4 VGA MP4	画像サイズ/パノラマ画像サイズ/画質
MP4 AVCHD	ビューモード
	エコモード
	TransferJet設定
3D	3D画像
	連写画像
	連写代表画像
	プロテクト
DPOF	プリント予約
×2.0	再生ズーム

2

表示	意味
101-0012	フォルダ-ファイル番号
2012-1-1 **9:30 AM**	再生画像の記録日時

3

表示	意味
102	再生フォルダ
12/12	画像番号/日付内・再生フォルダ内画像枚数
	再生メディア（メモリーカード、内蔵メモリー）
OFF	Eye-Fi表示
	フラッシュモード
	測光モード
AWB 1 2 3 WB	色合い（ホワイトバランス）
C:32:00	自己診断表示
ISO400	ISO感度

4

表示	意味
500	シャッタースピード
+2.0EV	明るさ（EV補正）
ND	NDフィルタ
F3.5	絞り値
FULL ERROR	管理ファイルフル警告/管理ファイルエラー警告
	温度上昇警告
	再生
1	変速再生
	再生バー
00:00:12	カウンター
AUTO LCD EVF	EVF/LCD切り替え
	方位
	飛行機モード
	GPS情報
35° 37′ 32″N 139° 44′ 31″E	緯度・経度表示
	ヒストグラム
	音量

もっと詳しく知りたい（サイバーショットユーザーガイド）

「サイバーショットユーザーガイド」はオンラインで見るマニュアルです。
さらに詳しい使い方を知りたいときにご覧ください。

1 サポートページにアクセスする。

http://www.sony.jp/support/manual_dsc.html

2 型名をサイト内で検索して本機の「サイバーショットユーザーガイド」を探す。

- 型名は本機の底面をご覧ください。

- お使いの検索エンジンで「型名」、「ユーザーガイド」を入力して検索することもできます。

故障かな？と思ったら

困ったときは、下記の流れに従ってください。

❶ 以下の項目をチェックする。また、「サイバーショットユーザーガイド（HTML）」も参照し、本機を点検する。
モニターに「C/E：□□：□□」のような表示が出たときは、「サイバーショットユーザーガイド」をご覧ください。

❷ バッテリーを取りはずし、約1分後再びバッテリーを入れ、本機の電源を入れる。

❸ 設定リセットをする（90ページ）。

❹ サイバーショットオフィシャルWEBサイトで確認する。
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

❺ ソニーの相談窓口に電話で問い合わせる（裏表紙）。

- **内蔵メモリーやBGM機能を搭載した機種を修理に出した場合、それらの内容を確認させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。**

バッテリー・電源

本機にバッテリーを入れられない。

- バッテリーの向きを確認し、取りはずしつまみがロックするまで挿入してください（14ページ）。

電源が入らない。

- ACアダプターをコンセントに差し込む(15ページ)。
- 本機にバッテリーを取り付けた後、電源が入るまでに時間がかかることがあります。
- バッテリーが正しく取り付けられているか確認してください(14ページ)。
- バッテリーは使わなくても自然放電で少しずつ消耗します。充電をしてからお使いください。
- バッテリーがNP-FH50か、確認してください。

電源が切れる。

- ACアダプターを使用する。
- 本機やバッテリーの温度によっては、カメラを保護するために、自動的に電源が切れることがあります。この場合は、電源が切れる前にモニターにメッセージが表示されます。
- [エコモード]設定が[標準]または[強]のときに、操作しない状態が一定時間続くと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れます。電源を入れ直してください。

バッテリーの残量表示が正しくない。

- 温度が極端に高い、または低いところで使用しているときの現象です。
- 残量表示と実際の残量にズレが生じています。バッテリーを一度使い切ってから充電すると正しい表示に戻ります。ご使用状況によっては、表示にズレが生じることがあります。
- 使用回数や経年変化により、バッテリー容量は低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、バッテリーの寿命です。新しいものをお買い上げください。

バッテリー充電中、本機の電源/充電ランプが点滅する。

- バッテリーの温度が高すぎる、または低すぎると、充電できないことがあります。
- バッテリーを正しく取り付け直す(14ページ)。それでも点滅するときは、故障のおそれがあるため、コンセントからプラグを抜き、ソニーの相談窓口にお問い合わせください(裏表紙)。

バッテリー充電中、電源/充電ランプが点灯しない。

- バッテリーを正しく取り付け直す(14ページ)。
- コンセントにプラグを正しく差し込む。
- すでに充電が完了している(15ページ)。

電源/充電ランプが消えて充電が終わっても、充電ができていない。

- 温度が極端に高い、または低いところで充電しているときの現象です。バッテリーの充電は周囲温度が10℃～30℃の環境で行ってください。

撮影

撮影できない。

- メモリーカードを挿入しているのに内蔵メモリーに記録されてしまうときは、メモリーカードが奥まで挿入されているか確認してください。
- 内蔵メモリーまたはメモリーカードの空き容量を確認してください(94、95ページ)。いっぱいのときは、下記のいずれかを行ってください。
  – 不要な画像を削除してください(66ページ)。
  – メモリーカードを交換してください。
- フラッシュ充電中は撮影できません。
- 動画撮影時は以下のメモリーカードをおすすめします。
  – "メモリースティックPRO デュオ"(Mark2)、"メモリースティックPRO-HG デュオ"
  – SDメモリーカード、SDHCメモリーカード、SDXCメモリーカード(Class 4以上)
- [デモモード]を[切]にしてください。

本機から音がする。

- 本機を振ると、手振れ補正レンズやフォーカスレンズが移動するためカタカタと音がします。故障ではありません。
- ズームをするとNDフィルタが出入りするのでカチッと音がすることがあります。故障ではありません。
- 動画撮影時、被写体の明るさに合わせて本機のアイリスが光量を調整するためカタカタと音がする場合があります。故障ではありません。

画像に黒い影が見える。

- 被写体の明るさの変化によって、絞りを切り換えるときに黒い影が見えることがあります。故障ではありません。

再生できない。

- メモリーカードが奥まで挿入されているか確認してください。
- パソコンでフォルダ/ファイルの名前を変更したためです。
- パソコンで画像を加工したファイルや他機で撮影した画像は、本機での再生は保証いたしません。
- USBモードになっています。USB接続を終了してください。
- パソコン内の画像を本体で再生するには「PlayMemories Home」をご使用ください。Macで再生する場合は、Macに搭載されているアプリケーションをご利用ください。

本機で画像を立体的に再生できない。

- [スイングマルチアングル]にして撮影した画像のみ、本機で立体的に見ることができます。
- 3D画像はJPEGファイルとMPOファイルから構成されています。パソコン上でどちらかのファイルを削除した場合、本機の機能が正しく動作しないことがあります。

使用上のご注意

使用/保管してはいけない場所

- 異常に高温、低温、または多湿になる場所
  炎天下や夏場の窓を閉め切った自動車内は特に高温になり、放置すると変形したり、故障したりすることがあります。
- 直射日光の当たる場所、熱器具の近く
  変色したり、変形したり、故障したりすることがあります。
- 激しい振動のある場所
- 強力な磁気のある場所
- 砂地、砂浜などの砂ぼこりの多い場所
  海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることもあります。

お手入れについて

レンズやフラッシュ発光部をきれいにする

レンズやフラッシュ発光部に指紋やゴミが付いて汚れたときは、柔らかい布などを使ってきれいにしてください。

表面をきれいにする

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽く拭いたあと、からぶきします。本機の表面が変質したり塗装がはげたりすることがあるので、以下はご使用にならないでください。

- シンナー、ベンジン、アルコール、化学ぞうきん、虫除け、日焼け止め、殺虫剤のような化学薬品類
- 上記が手についたまま本機を扱うこと
- ゴムやビニール製品との長時間の接触

動作温度にご注意ください

本機の動作温度は約0 ℃～40 ℃です。動作温度範囲を越える極端に寒い場所や暑い場所での撮影はおすすめできません。

結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の内部や外部に水滴が付くことです。この状態でお使いになると、故障の原因になります。

結露が起きたときは

電源を切って結露がなくなるまで約1時間放置し、結露がなくなってからご使用ください。特にレンズの内側に付いた結露が残ったまま撮影すると、きれいな画像を記録できませんのでご注意ください。

内蔵の充電式バックアップ電池について

本機は日時や各種の設定を電源の入/切に関係なく保持するために充電式電池を内蔵しています。充電式電池は本機を使用している限り常に充電されていますが、使う時間が短いと徐々に放電し1か月程度まったく使わないと完全に放電してしまいます。充電してから使用してください。ただし、充電式電池が充電されていない場合でも、日時を記録しないのであれば本機を使うことができます。

内蔵の充電式バックアップ電池の充電方法

ACアダプター(付属)で本機とコンセントをつなぐか、本機に充電されたバッテリーを入れて、電源を切ったまま24時間以上放置する。

メモリーカードを廃棄/譲渡するときのご注意

本機やパソコンの機能による「フォーマット」や「削除」では、メモリーカード内のデータは完全には消去されないことがあります。メモリーカードを譲渡するときは、パソコンのデータ消去専用ソフトなどを使ってデータを完全に消去することをおすすめします。また、メモリーカードを廃棄するときは、メモリーカード本体を物理的に破壊することをおすすめします。

バッテリーについて

バッテリーの充電について

周囲の温度が10℃ 〜 30℃の環境で充電してください。これ以外では、効率のよい充電ができないことがあります。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が低いとバッテリーの性能が低下するため、使用できる時間が短くなります。より長い時間ご使用いただくために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前、本機に取り付けることをおすすめします。
- フラッシュ撮影、ズーム撮影などを頻繁にすると、バッテリーの消費が速くなります。
- 撮影には予定撮影時間の2 〜 3倍の予備バッテリーを準備して、事前に試し撮りをしてください。
- バッテリーは防水構造ではありません。水などにぬらさないようにご注意ください。
- 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所に放置しないでください。
- バッテリーの端子部が汚れると、電源が入らなかったり、充電ができないなどの症状が出る場合があります。このような場合は柔らかい布や綿棒などで軽く拭いて汚れを落としてください。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長時間使用しない場合でも、機能を維持するために、1年に1回程度充電して本機で使い切り、その後本機を湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、スライドショー(64ページ)を再生して、電源が切れるまでそのままにしてください。
- 本機から取り出したバッテリーは、接点汚れ、ショート等を防止するため、携帯、保管時は必ずポリ袋などに入れて金属から離してください。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをお買い上げください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境によってバッテリーごとに異なります。

電源コードについて

付属の電源コードは、本機専用です。他の電気機器では使用できません。

Eye-Fiカードについて

Eye-Fiカードはアメリカ、カナダ、日本、EUの一部の国で販売しています。（2011年11月現在）

- Eye-Fiカードに関するお問い合わせは、その製造者・販売者に直接ご確認ください。
- Eye-Fiカードはご購入された国のみで使用が認められています。使用する国の法律に従ってお使いください。

保証書とアフターサービス

記録内容の補償はできません

万一、デジタルスチルカメラやメモリーカードなどの不具合などにより記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています

このデジタルスチルカメラは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

"故障かな?と思ったら"の項を参考にして故障かどうかお調べください。それでも具合の悪いときはソニーの相談窓口にご相談ください(裏表紙)。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の交換について

この商品は修理の際、交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

部品の保有期間について

当社はデジタルスチルカメラの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造打ち切り後5年間保有しています。ただし、故障の状況その他の事情により、修理に代えて製品交換をする場合がありますのでご了承ください。

修理をお受けになる前に

内蔵メモリーのバックアップをお取りください。
修理によってデータが消去または変更された場合、記録内容の補償についてはご容赦ください。

安全のために

→ 2ページもあわせてお読みください。

下記の注意事項を守らないと、**火災**、**大けが**や**死亡**にいたる危害が発生することがあります。

分解や改造をしない

火災や感電の原因となります。内部点検や修理はソニーの相談窓口にご依頼ください。

内部に水や異物（金属類や燃えやすい物など）を入れない

火災、感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電池を取り出してください。ACアダプターやバッテリーチャージャーなどもコンセントから抜いて、ソニーの相談窓口にご相談ください。

運転中に使用しない

自動車、オートバイなどの運転をしながら、撮影、再生をしたり、モニターを見ることは絶対おやめください。交通事故の原因となります。

撮影時は周囲の状況に注意をはらう

周囲の状況を把握しないまま、撮影を行わないでください。事故やけがなどの原因となります。

指定以外の電池、ACアダプター、バッテリーチャージャーを使わない

火災やけがの原因となることがあります。

機器本体や付属品、メモリーカードは、乳幼児の手の届く場所に置かない

電池などの付属品や、メモリーカードなどを飲み込むおそれがあります。乳幼児の手の届かない場所に置き、お子様がさわらぬようご注意ください。
万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

電池やショルダーベルト、ストラップを正しく取り付ける

正しく取り付けないと、落下によりけがの原因となることがあります。
また、ベルトやストラップに傷がないか使用前に確認してください。

電源コードを傷つけない

熱器具に近づけたり、加熱したり、加工したりすると火災や感電の原因となります。また、電源コードを抜くときは、コードに損傷を与えないように必ずプラグを持って抜いてください。

可燃性/爆発性ガスのある場所でフラッシュを使用しない

つづき

警告 火災 感電 下記の注意事項を守らないと、**火災**、**大けが**や**死亡**にいたる危害が発生することがあります。

フラッシュ、AF補助光などの撮影補助光を至近距離で人に向けない

- 至近距離で使用すると視力障害を起こす可能性があります。特に乳幼児を撮影するときは、1m以上はなれてください。
- 運転者に向かって使用すると、目がくらみ、事故を起こす原因となります。

長時間、同じ持ち方で使用しない。

使用中に本機が熱いと感じなくても皮膚の同じ場所が長時間触れたままの状態でいると、赤くなったり水ぶくれができたりなど低温やけどの原因となる場合があります。

以下の場合は特にご注意いただき、三脚などをご利用ください。

- 気温の高い環境でご使用になる場合。
- 血行の悪い方、皮膚感覚の弱い方などがご使用になる場合。

下記の注意事項を守らないと、**けが**や**財産に損害**を与えることがあります。

水滴のかかる場所など湿気の多い場所やほこり、油煙、湯気の多い場所では使わない

火災や感電の原因になることがあります。

ぬれた手で使用しない

感電の原因になることがあります。

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所に置いたり、不安定な状態で三脚を設置すると、製品が落ちたり倒れたりして、けがの原因となることがあります。

コード類は正しく配置する

電源コードやパソコン接続ケーブル、A/V接続ケーブルなどは、足に引っ掛けると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。

つづき

下記の注意事項を守らないと、**けが**や**財産に損害**を与えることがあります。

通電中のACアダプター、バッテリーチャージャー、充電中の電池や製品に長時間ふれない

長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

使用中は機器を布で覆ったりしない

熱がこもってケースが変形したり、火災、感電の原因となることがあります。

長期間使用しないときは、電源をはずす

長期間使用しないときは、電源プラグをコンセントからはずしたり、電池を本体からはずして保管してください。火災の原因となることがあります。

フラッシュの発光部を手でさわらない

フラッシュ発光部を指・手袋などで覆ったまま発光しない。また、発光後もしばらくは発光部に手を触れないでください。やけど、発煙、故障の原因となります。

レンズやモニターに衝撃を与えない

レンズやモニターはガラス製のため、強い衝撃を与えると割れて、けがの原因となることがあります。

電池や付属品、メモリーカード、アクセサリーなどを取りはずすときは、手をそえる

電池やメモリーカードなどが飛び出すことがあり、けがの原因となることがあります。

⚠危険 電池についての安全上のご注意とお願い

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲による大けがや**やけど、火災**などを避けるため、下記の注意事項をよくお読みください。

⚠危険	• 乾電池型充電式電池・バッテリーパックは指定されたバッテリーチャージャー以外で充電しない。 • 電池を分解しない、火の中へ入れない、電子レンジやオーブンで加熱しない。 • 電池を火のそばや炎天下、高温になった車の中などに放置しない。このような場所で充電しない。 • 電池をコインやヘアーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管しない。 • 電池を水・海水・牛乳・清涼飲料水・石鹸水などの液体でぬらさない。ぬれた電池を充電したり、使用したりしない。	禁止
⚠警告	• 電池をハンマーなどでたたいたり、踏みつけたり、落下させたりするなどの衝撃や力を与えない。 • バッテリーパックが変形・破損した場合は使用しない。 • アルカリ電池/ニッケルマンガン電池は充電しない。 • 外装シールをはがしたり、傷つけたりしない。外装シールの一部または、すべてをはがしてある電池や破れのある電池は絶対に使用しない。	禁止
⚠注意	• 電池は、+、−を確かめ、正しく入れる。 • 電池を使い切ったときや、長期間使用しない場合は機器から取り出しておく。	指示

お願い	リチウムイオン電池は、リサイクルできます。不要になったリチウムイオン電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼ってリサイクル協力店へお持ち下さい。
	Li-ion リチウムイオン電池
	充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については、 一般社団法人JBRCホームページ http://www.jbrc.net/hp/contents/index.html を参照して下さい。

主な仕様

本体

[システム]

撮像素子：7.76 mm（1/2.3型）
Exmor R CMOSセンサー
総画素数：約1890万画素
カメラ有効画素数：約1820万画素
レンズ：カールツァイス バリオ・ゾナー T* 30倍ズームレンズ
f=4.8 mm 〜 144 mm
（27 mm 〜 810 mm（35 mmフィルム換算値））、F2.8（W）〜 F5.6（T）
動画撮影時（16：9）：29 mm 〜 870 mm*
動画撮影時（4：3）：36 mm 〜 1080 mm*
* [動画手ブレ補正]が[スタンダード]のとき
手ブレ補正：光学式
露出制御：自動、シャッタースピード優先、絞り優先、マニュアル露出、シーンセレクション（16 モード）
ホワイトバランス：オート、太陽光、曇天、蛍光灯1/2/3、電球、フラッシュ、ワンプッシュ、ホワイトバランスシフト
信号方式：NTSCカラー、EIA標準方式
記録方式：
静止画記録方式：
JPEG（DCF、Exif、MPF Baseline）準拠、DPOF対応
3D静止画記録方式：MPO（MPF Extended（立体視））準拠
動画記録方式（AVCHD方式）：
AVCHD規格 Ver.2.0準拠
映像：MPEG-4 AVC/H.264
音声：Dolby Digital 2ch
ドルビーデジタルステレオクリエーター搭載
• ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
動画記録方式（MP4方式）：
映像：MPEG-4 AVC/H.264
音声：MPEG-4 AAC-LC 2ch
記録メディア：内蔵メモリー 約105MB、"メモリースティック デュオ"、"メモリースティック マイクロ"、SDカード、microSDメモリーカード
フラッシュ：撮影範囲（ISO感度（推奨露光指数）がオートのとき）
約0.3 m〜 12.4 m（W）/
約2.0 m〜 5.9 m（T）

[入出力端子]

HDMI端子：HDMIミニ端子
DC-IN端子
マイクロUSB端子：USB通信
USB通信：Hi-Speed USB（USB 2.0）

[モニター]

液晶モニター：
7.5 cm（3.0型）、TFT駆動
総ドット数：921 600ドット

[電源・その他]

電源：リチャージャブルバッテリーパックNP-FH50、6.8 V
ACアダプター AC-L200C/AC-L200D（付属）、8.4 V
消費電力:1.3 W（液晶モニターで撮影時）
:1.2W（ファインダーで撮影時）
動作温度：0 ℃〜 40 ℃
保存温度：−20 ℃〜 +60 ℃
外形寸法（CIPA準拠）：
121.6 mm×86.6 mm×93.3 mm
（幅×高さ×奥行き）
本体質量（CIPA準拠）（バッテリーNP-FH50、"メモリースティック デュオ"を含む）：
約583 g
マイクロホン：ステレオ
スピーカー：モノラル
Exif Print：対応
PRINT Image Matching III：対応

ACアダプター AC-L200C/AC-L200D

定格入力：AC 100 V ～ 240 V、50 Hz/60 Hz
消費電力：18 W
定格出力：DC 8.4 V*
動作温度：0 ℃～ 40 ℃
保存温度：－20 ℃～ +60 ℃
外形寸法：約48 mm×29 mm×81 mm（幅×高さ×奥行き）
本体質量：約150 g（本体のみ）
* その他の仕様についてはACアダプターのラベルをご覧ください。

リチャージャブルバッテリーパックNP-FH50

使用電池：リチウムイオン蓄電池
最大電圧：DC 8.4 V
公称電圧：DC 6.8 V
公称容量：6.1 Wh（900 mAh）
定格(最小)容量：5.9 Wh（870 mAh）

本機や付属品の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

商標について

- 以下はソニー株式会社の商標です。Cyber-shot、"サイバーショット"、"Memory Stick"、"メモリースティック"、MEMORY STICK ™、"Memory Stick PRO"、"メモリースティック PRO"、MEMORY STICK PRO、"Memory Stick Duo"、"メモリースティック デュオ"、MEMORY STICK DUO、"Memory Stick PRO Duo"、"メモリースティックPRO デュオ"、MEMORY STICK PRO DUO、"Memory Stick PRO-HG Duo"、"メモリースティックPRO-HG デュオ"、MEMORY STICK PRO-HG DUO、"MagicGate"、"マジックゲート"、MAGICGATE、"ブラビア"、"ブラビアプレミアムフォト"、DVDirect、TransferJet、TransferJetロゴ
- Blu-ray Disc™およびBlu-ray™はブルーレイディスクアソシエーションの商標です。
- AVCHD ProgressiveおよびAVCHD Progressiveロゴは、ソニー株式会社とパナソニック株式会社の商標です。
- Dolby、ドルビー、およびダブルD記号は、ドルビーラボラトリーズの商標です。
- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- Microsoft、Windows、DirectX、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Mac、Mac OSはApple Inc.の登録商標または商標です。
- Intel、Pentium、Intel CoreはIntel Corporationの登録商標または商標です。
- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

- MultiMediaCardは、MultiMediaCard Associationの商標です。
- 「プレイステーション 3」は株式会社ソニー・コンピュータエンタテインメントの商品です。また、、“プレイステーション”および“PlayStation”は同社の登録商標です。
- Adobe、Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。
- OBEXは、Infrared Data Associationの登録商標です。
- Eye-FiはEye-Fi, Incの商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中には™、®マークは明記していません。

- “Works with PlayStation 3”ロゴは、特定のPlayStation 3専用ソフトウェアと連携することで、さらなる楽しみを提供する製品につけるマークです。

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

アルファベット順

記号・数字順

■ 困ったときは（サポートのご案内）

ホームページで調べる

サイバーショットの最新サポート情報
（製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法、使用可能なメモリーカードなど）

http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

サイバーショットオフィシャルWEBサイト

http://www.sony.co.jp/cyber-shot/

サイバーショットの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。英語の取扱説明書のダウンロードもできます。
(English manual download service is available.)

ソフトウェアのサポート情報

http://www.sony.co.jp/support-disoft/

電話で問い合わせる（ソニーの相談窓口）

●使い方相談窓口

フリーダイヤル……………0120-333-020
携帯・PHS・一部のIP電話……………0466-31-2511

最初のガイダンスが流れている間に下記番号＋「＃」を押してください。
本機や付属品：「401」
ソフトウェア「PlayMemories Home」：「404」
受付時間：月～金 9:00 ～ 18:00　土・日・祝日 9:00 ～ 17:00

●修理相談窓口

フリーダイヤル……………0120-222-330
携帯・PHS・一部のIP電話……………0466-31-2531

最初のガイダンスが流れている間に「401」＋「＃」を押してください。
受付時間：月～金 9:00 ～ 20:00　土・日・祝日 9:00 ～ 17:00

ホームページ　http://www.sony.co.jp/di-repair/
FAX（共通）：0120-333-389

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1　http://www.sony.co.jp/

この説明書は、古紙 70% 以上の再生紙と、VOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。